

《10月初 神戸の秋》 9月&10月初の神戸便り 酷暑の夏が過ぎて初秋から秋へ 2025

時節と共に移り行く神戸の海・山・川・里そして町の素晴らしい秋景色は神戸に住む役得 2025.10.10.☺

■ Photo 記録

- 御彼岸が済んで、黄金色の田の畔を飾る真っ赤な彼岸花 田畑も果樹園も一機に実りの秋を迎えた西神戸 家内は張り切って 伊川谷のイチジクジャムづくり。10月1日からは新米を届けるとの報も。 仲間との久しぶりの電話に弾む声 味覚の秋到来☺
- 昨年は飛来がなかった南へ帰る渡りの蝶「アサギマダラ」の飛来 2025.10.6. 横尾山山腹フジバカマ群生地で
- まもなく終わる大阪万博 須磨海岸に立ち並ぶ西六甲西端の山から 万博大屋根リングを探す 訪れた喜びが訪れた人たちみんなに絶えず残って、希望の未来を築く力になってほしいなあ…と。

■ From Kobe 思いつくまま 気の向くままのメモ記録 2025.10.10.

1. はじめに 加西綱引湿原に咲くサギソウ・鷺草 雑草の中で4つの花が舞う美しい姿に出会いました
2. 気になるニュース 日本世界が混乱する時代の今”生”の声が聴きたい インターネットや新聞より インターネット 新聞で切り抜いた生の声より 通信・インターネットに媚びる時代☺
AI・バタワースなんでも作れる時代 もう政治までもがそんな渦中に・・確かな生の声を聴きたい 地球温暖化の影響か？激しい気象変化の中 世界も日本も世相は混沌 わけのわからぬ時代に もう真偽を確かめめ評論や解説・噂話はもうたくさん。しっかりと生の話を聞きたい!! 真偽を確かめめ噂話 SNS そしてTV・新聞までもが数の世論をふりかざし、人を煽っている?? 新聞紙面・TV番組にみる年寄りのぶつぶつ 商業主義の中で生きる悲哀☺ 「ようそんだけ ぶつぶついうなあ……」と家内が言う それも そうだ。年老いたぶつぶつや もう関西流「よう知らんけどな」と返す。 「幸福」と一般に言う「喜びや快樂」を区別して生きる人がある 夏川草介「エビクロスの処方箋」を読みつつ、ほんとうは そうだよなあ… 一度立ち止まって「今の時代は幸福だろうか…」と
3. 忘れえぬ人を思い浮かべて 掲載評論家 内橋克人さん 考古学者 大村幸弘さん
 - 内橋克人氏をしのぶ記事を目にして 神戸新聞 2025年9月15日 朝刊 より 整理転記 現場・人間主義を貫いた巨星 経済評論家 内橋克人氏☺ 常に現場に立ち、自分の眼で確かめ、権威におもねず、攻められる側に身を置く視点
 - 人類史の謎 鉄のルーツを追いつづけた考古学者 大村幸弘氏 5月20日に逝去の訃報を知って かつて、たたら製鉄から鉄のルーツへ目を向けさせてくれた考古学者の一人。
4. 文珍さんの落語的見聞録 8・9月 神戸新聞朝刊 7月17日 & 8月21日より整理転記
 - <1> 思い出した!? 「三枝さん」 <2> AI ガ苦手ナ世界ハ・・
 - 【リンク掲載】 <https://infokkna2.com/ironroad2/2025htm/2025mutsu/fkobeR0710Bunchin.pdf>
5. 鉄の話題【リンク掲載】 <https://infokkna.com/ironroad/iron25list.htm>
 1. 良く見えなかったレアアースの供給と課題 インターネット資料収集☺
 2. 今 世界で1億/日を超えるアクセスが話題に 地球一年ごとの歴史のカプセル若狭「水月湖」
 3. 鉄創世記プロジェクト(4) 愛媛大学教授 村上恭通氏メール 受信整理して
6. 仲間からの便り【リンク掲載】 <https://www.asahi-net.or.jp/~zp4m-nkns/monthlyindex.htm#9> 9月初秋の風 神戸便り 毎月送ってくれるM.A.さんの小冊子「ニューモラル 今月の言葉」☺
 - 8月「選びたくなるのはどっち 心の姿勢次第で結果は変わる」目にみえない「こころ」を大切に
 - 9月「長寿社会を生きる 高齢者と共に生きる」支えあって生きるということ☺
 - 10月「満足? 不満足? 相手の良さに目を向ける」 「ありがたい」と感じる心を大切に☺

 老いと向き合う歳になって、やわらかい言葉とまなざしにであえると気が晴れ、また 頑張ろうと。
 “今日も一日 Nice Day!! 笑顔を忘れず” いつも 有難う。2025.10.1. Mutsu Nakanishi

添付1. 文珍さんの落語的見聞録 8・9月 神戸新聞朝刊 7月17日 & 8月21日より整理転記

<1> 思い出した!? 「三枝さん」 <2> AI ガ苦手ナ世界ハ・・

添付2 【和鉄の道 2025】 鉄の話題 「レアアース 供給先が中国に限られている不思議??？」

高度情報化社会構築に不可欠な「レアアース(REE)」 2025.9.10.

でもその供給先は今や中国に限られている その理由の一端をインターネット、切り抜き収集

添付3. 新聞・インターネット News 9月 気になったニュース 切り抜き 4件

■ どうなるコメ価格 政策転換の壁は高値を守りたい「JAと族議員」?

■ トランプ大統領の「強権と失望のはざまに揺れるアメリカ」 トランプ政権のやり方に、アメリカ人一般はどう見ているのだろうか・

■ 神戸新聞朝刊「オピニオン」より☺

【現論】驚きの参院選結果「裏の言論」が公然化 【視標】武力に頼り洗脳 日本と同じ道ち イスラエル犯す

■ 神戸新聞コラム「正平調」2025.9.20. 理屈も 思想も 宗教も 何もしらんでいい ただ 戦争にNo! という

《10月初 神戸の秋》 9月&10月初の神戸便り 酷暑の夏が過ぎて初秋から秋へ 2025

時節と共に移り行く神戸の海・山・川・里そして町の素晴らしい秋景色は神戸に住む役得 2025.10.10. ←

《 10月初 神戸の秋 》 海・山・里 そして街 神戸の秋景色を届けます

■Top Photo 澄み渡る秋の空 初秋から実りの秋へ



■ 御彼岸が済んで、黄金色の田の畔を飾る真っ赤な彼岸花 田畑も果樹園も一機に実りの秋を迎えた西神戸 家内は張り切って 伊川谷のイチジクジャムづくり。10月1日からは新米を届けるとの報も。仲間との久しぶりの電話に弾む声 味覚の秋到来



■ 昨年は飛来がなかった南へ帰る渡りの蝶「アサギマダラ」の飛来 2025.10.6. 横尾山山腹フジバカマ群生地で



■ まもなく終わる大阪万博 須磨海岸に立ち並ぶ西六甲西端の山から 万博大屋根リングを探る



訪れた人たちに訪れた喜びの記憶 語り継がれ希望の未来を築く力になってほしいなあ…と。



2. 気になるニュース 日本世界が混乱する時代の今”生”の声を聴きたい インターネットや新聞より
 インターネット 新聞で切り抜いた生の声より 通信・インターネットに媚びる時代
 AI・バタワースなんでも作れる時代 もう政治までもがそんな渦中に・・・確かな生の声を聴きたい
 インターネット・新聞から、そんな思いの中で、気になる記事を切り取りました。

| | | |
|---|--|--|
| <p>どうなるコロナ禍 政権転換の懸念を呼びたい「JAと読書員」? 毎日新聞 2025年9月13日 18:00 (最終更新 9月13日 18:01) https://mainichi.jp/articles/20250913/k00/00m/040/088000c</p> <p>コロナの発生量が定まりつつある。政府は8月、今の水準を基準として追加の感染拡大を抑えようとする。世界にも感染拡大を抑えようとする。政府は追加の感染拡大を抑えようとする。政府は追加の感染拡大を抑えようとする。</p> <p>出典: 毎日新聞 2025年9月13日 18:00 (最終更新 9月13日 18:01)</p> | <p>【現論】 武力に頼り洗脳 日本と同じ過ち イスラエル犯す</p> <p>武力に頼り洗脳 日本と同じ過ち イスラエル犯す</p> <p>武力に頼り洗脳 日本と同じ過ち イスラエル犯す</p> | <p>トランプ政権のやり方、アメリカ一般人はどう見ているのだろうか・・・ トランプ政権の強硬的な「アメリカ ファースト」 その強硬ぶり 権力を振りかざしたい気持。全く悪いのではない。世界が混乱の渦の中。案の定 アメリカの人々もみんなどう見ているのだろうか・・・と 気がなると、毎日新聞で、こんな記事を見かけました。 有料記事で全文は見ませんが、今 アメリカで起きていることの概要を From Kobe Mutsu</p> <p>トランプ大統領の「強権と失望はさざまで揺れるアメリカ」 < https://ml.mainichi.jp/c/alaBb3aDfX6sXbl > 毎日新聞デジタル 経済プレミアム 本誌限定のみ サーチ＆テック/ロジーズ チーフエコノミスト 2025年9月4日</p> <p>トランプ大統領の強硬的な振る舞いが、米国社会を大きく揺るがしている。相次ぐ政府高官の解任、中央銀行へのさらさらな利下げ要求、高等教育機関の締め付け、メディアや民間企業への露骨な介入、そして大統領権限を巡る司法への挑戦と、まるで独裁者のと見まがうばかりの状況。しかしトランプ氏の権限拡大の試みは国民の支持を必ずしも得られていない。経済は堅調ながら生活実態は改善せず、国民の政治不信は募るばかり。こうした政治と社会の乖離は、米国だけでなく日本を含む先進国全体の共通課題を顕し出している。トランプ氏の暴走とどうする</p>  |
| <p><現論> 読書の夢院選結果、ウラの言論が公然化 ノフィクション作家 保護正義</p> <p>今日の夢院選結果を見て、意外な事実に気がついた人はどれだけの人がいるだろうか。結果を分析する報道は1つ2つ通りである。具体的には、右翼政権はいつまで続発するのという論が主である。1955年の総選挙以来、自民党が衆議院で半数を超えるのは初めてのことが、政権に異変が訪れるのはおかしくない。しかし、この選挙結果は、今日の選挙が二つの特徴を有していることと見られる。第一、これは現代日本の政治状況が顕著になった選挙ではないだろうか。</p>  | <p><現論> 読書の夢院選結果、ウラの言論が公然化 ノフィクション作家 保護正義</p> <p>今日の夢院選結果を見て、意外な事実に気がついた人はどれだけの人がいるだろうか。結果を分析する報道は1つ2つ通りである。具体的には、右翼政権はいつまで続発するのという論が主である。1955年の総選挙以来、自民党が衆議院で半数を超えるのは初めてのことが、政権に異変が訪れるのはおかしくない。しかし、この選挙結果は、今日の選挙が二つの特徴を有していることと見られる。第一、これは現代日本の政治状況が顕著になった選挙ではないだろうか。</p> | |

■ 神戸新聞 コラム「正平調」2025.9.20.

理屈も 思想も 宗教も 何も知らんでいい ただ 戦争にNO! という・

正平調
 建物の片隅に、そのブースはある。国内の遺跡や歴史的な建造物をプリントした紙が数枚。映像が流れているが、パンフレットの類いはない。そこは大阪・関西万博のパレスチナの展示室◆周囲で特産物やアクセサリなどを売り買ひする声が飛び交う中、パレスチナの一面は簡素で静かだ。それがもう何かを訴えることも、声を上げることもしない現状を伝えているかのよう◆中東の地でイスラエル軍によるガザ市への地上侵襲が始まった。北部から南部に向け避難を始めた人々を空から地上から、軍の執拗な攻撃がのび込む。がれきに響く爆音、絶望の叫び◆停戦の動きがある一方で米国とイスラエルの怪しげな協議が報じられる。米大統領が「ハマス一掃で、ガザをリゾット地に」と言えば、イスラエル高官からは「ガザは不動産の宝庫」の発言が◆国連がガザ市で飢饉が起きていると発表したのは先月のこと。アフリカ以外では初めての認定で今週には、イスラエル首相の扇動によるシエノサイド(民族大虐殺)を結論づける報告も◆「理屈も 思想も 宗教も 何も知らんでいい ただ 戦争に NO! という」。

今回の私の好きな絵本作家 長谷川義史さんが、取り上げられている。絵本作家 長谷川義史さんの生の声「理屈も 思想も 宗教も 何も知らんでいい ただ 戦争にNO! という」TVも SNS もマスコミも本当に日本人は解説が好きだ。解説よりもストレートの意見が知りたい。解説やったら、論旨のはっきりした書物がいい。スタートはそこやと私も思う From Kobe Mutsu Nakanishi

地球温暖化の影響か? 激しい気象変化の中 世界も日本も世相は混沌 わけのわからぬ時代に
 もう真偽を確かめぬ評論や解説・噂話はもうたくさん。しっかりと生の話を聞きたい!!
 真偽を確かめぬ噂話 SNS そしてTV・新聞までもが数の世論をふりかざし、人を煽っている??
 新聞紙面・TV 番組にみる年寄りのぶつぶつ 商業主義の中で生きる悲哀
 「幸福」と「喜びや快樂」は違うと区分して生きる人がいる 夏川草介「スピノザの処方箋」を読みつつ
 ほんとうにそうだよなあ… 一度立ち止まって「今の時代は幸福だろうか…」と
 「ようそんだけ ぶつぶついうなあ・・・」と家内が言うが、
 そうだよなあ。もう年老いたぶつぶつ もう関西流「よう知らんけどなあ」と。



3. 忘れえぬ人を思い浮かべて 掲載評論家 内橋克人さん 考古学者 大村幸弘さん

■ 内橋克人氏をしのぐ記事を目にして 神戸新聞 2025年9月15日 朝刊より 整理転記

現場・人間主義を貫いた巨星 経済評論家 内橋克人氏

常に現場に立ち、自分の眼で確かめ、権威におもねらず、攻められる側に身を置く視点



上記神戸記事 読めるよう下記にも整理書き写し転記しています

■神戸新聞 2025年9月15日 朝刊より 整理転記

< 評伝・内橋克人 ～共生と平和のジャーナリスト > (1) 筆一本の旅路 「人間主語」貫き、市場主義

和鉄の道 2025 9月 <https://infokkna2.com/ironroad2/2025htm/2025mutsu/R0710Uchihashi.pdf>

2021年に逝去された内橋克人氏の記事を久しぶりに神戸新聞紙上でみ、もう、5年たつのかと。高度成長時代の行き過ぎた世相を高ぶることなく冷静に批判した論調に、いつも親近感を覚え、引き込まれていました私の住む神戸須磨に在住と知ったのはずっと後から。行き過ぎた高度成長からの変革の道筋を論じた評論に自分をただす糧に。HP「和鉄の道・Iron Road」にも何度も掲載させていただきました。高度成長時代から高度な情報化社会の時代になりましたが、内橋克人氏の眼力 今も鋭く生きています。懐かしく神戸新聞の記事を読み、もう老いはしましたが、自分の生き方を重ねつつ、身が引き締まる思い。

世界が混迷を深め、自分本位の利己主義敵利那の時代の今一度立ち止まって 内橋克人さんが説く「人間主義を貫く生き方」に、耳を傾けてはと。「和鉄の道・Iron Road」にも掲載した記事を取り出し、読み直しています。

2025.9.15. From Kobe Mutsu Nakanbishi

***** 和鉄の道・Iron Road の記事 思いつくままに

◎ 【2021年10月 From Kobe】常に現場に立ち、自分の眼で確かめ、権威におもねらず、攻められる側に身を置く視点 現場・人間主義」を貫いた巨星 「経済評論家 内橋克人氏 逝去」の訃報に接して 懐い出すままに

<https://infokkna.com/ironroad/2021htm/2021mutsu/fkobeR0310Uchihashi.pdf>

添付「和鉄の道・Iron Road - from Kobe」に掲載紹介してきた内橋克人氏の記事リスト

◎ 【From Kobe 2012年1月】年の初めに厳しさを力に 経済評論家 内橋克人氏100年インタビューに共感して

<https://infokkna.com/ironroad/2012htm/2012mutsu/fkobe1201.pdf>

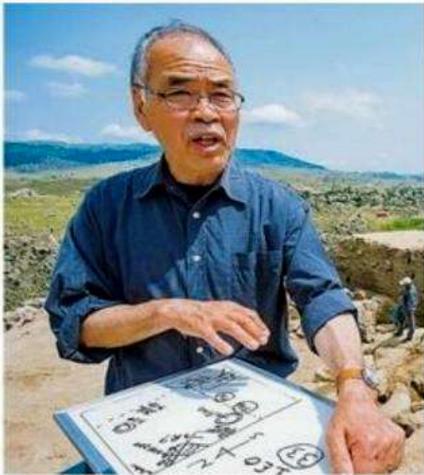
被災地だけでなく 日本の疲弊がますます露わに 人間復興・社会基盤の復興の両立を

「日本人気質の奥にある頂点同調・熱狂的な等質化から脱して 新しい日本作りに踏み出そう

もう 気がつこう マスコミが騒ぎ立てる働かせる側の論理から働く人の論理へ

国際マネー主義から脱して 市場主語から人間主語へ 2011年12月18日 NHK BS 内橋克人 100年インタビューより

■ 人類史の謎 鉄のルーツを追いつづけた考古学者 大村幸弘氏 5月20日に逝去の訃報を知って私を「たたら製鉄」から「鉄のルーツへ」目を向けさせてくれた考古学者の一人



トルコ中部の遺跡で話す
大村幸弘さん＝2013年5月
(共同)

トルコで発掘 おおむら さちひろ 大村幸弘さん

5月20日死去

78歳

トルコ中部カマン・カレホック遺跡で1980年代から発掘を継続、人類史の謎「鉄」のルーツを追った。古代ヒッタイト帝国など数千年以上に積み重なった地層を調べ、歴史のものさし「文化編年」の構築を目指してきた。盛岡市生まれ。少年時代に考古学に関心を持ち、トルコの首都アンカラに留学。帰国後に三笠宮の発案で設立された中近東文化センターに勤務。カマンの遺跡近くを拠点として掘り進め98年、現地でアナトリア考古学研究所を設立した。

人類史の謎「鉄」のルーツを追う

と松村公仁・現所長は振り返る。そうした教え子から日本の第一線の研究者が何人も育った。「鉄が果たした役割を明らかにしたい」「1世代では終わらない作業」。取材にも、朗らかに、根気よく説明してくれた。漫画家や作家ら、幅広い交友で研究の意義を広めた。トルコ人自身で遺跡を守ってほしいとの願いから遺跡近くの村人と共生した。93年に造った日本庭園は結婚式の撮影地として地元で親しまれるようになった。発掘隊で働く村人を一時の労働力でなく、仲間として経験や技術に敬意を払った。ことし3月、村人らを初めて日本に招き「彼らがいたからやってこられた」と、支援者にうれしそうに紹介した。直後の4月、所長から名誉所長になった。

トルコでのお別れ会に参列したヤズグ文化・観光副大臣は「私たちの歴史と未来を守った。親友になってくれた」と涙を流した。東京での葬儀会場には、日本の街並みを村人と歩く写真が飾られ、人柄がしのばれた。

(共同通信 高山裕康)

新聞を眺めていて、考古学者の大村幸弘氏の逝去(2025年5月20日)の訃報を初めて知りました

随分前になりますが、愛媛大学 村上恭通教授が主宰される鉄の講演会でお「トルコのアナトリア高原で、ヒッタイト以前の鉄が出土した」との話を目を輝かせて、聴講させていただいたのが出会いの初め。

講演会が終わった後、すぐ先生の著書「鉄を生み出した帝国 ヒッタイト発掘」を買って読んだ思い出も。

また、人工鉄の起源・鉄のユーラシア大陸東遷の道探求の国際プロジェクトの成果報告会に参加させてもらい、人工鉄のルーツを知るきっかけにもなった大村先生の講演でした。

「和鉄の道・Iron Road 2010 [9]」

参考資料「ヒッタイトの鉄の謎に挑む」2010.8.7.朝日新聞朝刊に掲載された記事より

<https://infokkna.com/ironroad/2010htm/iron6/1009hittites00.htm>

○ 参考資料 1. 大村 幸弘 鉄を生みだした帝国―ヒッタイト発掘 (NHK ブックス 391)

2. 大村 幸弘 アナトリア発掘記「カマン・カレホック遺跡の二十年」(NHK ブックス)

たたら製鉄にしか目が向かなかった私に、村上恭通先生と共に「世界の鉄のルーツ」への道を教えていただいた人。その後10年にわたる村上先生らの国際プロジェクト「鉄の起源・鉄のユーラシア大陸東遷の道探求」の素晴らしい成果につながったと。

トルコでまだまだお元気で研究を続けられておられるものと。

ほんとうにありがとうございました。 God Be With You 天国で安らかに憩われますよう

考古学者 大村幸弘氏 ご逝去の報に接して From Kobe 2025. 8月





<1> 思い出した!? 「三枝さん」 2025.7.17.

最近、丹波篠山の実家の固定電話の調子が悪く、
ぷーと鳴っているだけで通話ができない。
これはいかんと、電話機を買った電器屋さんに参上、
事情を話すと
「今スタッフがいないので、帰りましたらすぐ参ります」
「で、何時ごろに来てくださいますか」と問えば、
「わかりましたら電話します」
「…?? いやその電話機が調子悪いんです」
「いや携帯の方に」「あの一私、携帯使わないんです」
「エー！」。



まるで旧石器時代の人間を見るようなまなざし。少々あまのじゃくな私はスマホを持たない。
情報過多の時代、いらぬ情報に振り回されたくない、SNSなんぞに時間を取られたくない等々の思いで、
今日まで使わずに来た。
「じゃあ この時間なら家におりますのでよろしく」と伝え、家で待っていると、親切な電器屋さん、こちらに合わせて来てくださり、調べた結果、電話機は大丈夫、どうやら電話線の回路の問題だろうとわかり、後日、NTTの方に
来てもらえることとなった。
当日、待っていると高所作業車を運転して専門の工事の方が来られ、いきなり「あっ、エー！わあ…落語の…」と
私の名前が出てこない。
スマホで調べたかったのだろうが、仕事優先。2時間かけて電話が通じるようになった。
作業車が道路に止まっているので赤い旗を持った誘導員さんがいたが、2時間の間1台も車が通らなかつた。
何というのどかさ。そして工事をしていただいたオジサンに帰り際「お世話になりました」と言うのと車のウインドー
を下げて満面の笑みで「ありがとう三枝さん」とおっしゃった。
これホントの話。静かなのどかな実家の庭で私、コケタ！
オジサンはあの時スマホで調べたかったんだろうけど仕事優先で作業している間に思い出されたんだろう、
たまたま答えが違っただけだ。

落語「物忘れ」では、今日は会社から早く帰って何かをしようと思っていたが思い出せない。
食事しながら…うーん、思い出せない。よし、風呂に入って思い出そう…うーん思い出せない。
まあいいか、今日はもう寝よう！
アッ！そうだ、今日は早く帰って寝ようと思っていた！と、のどかなもの。
次の日曜は参院選。忘れず行くぞ！
私はSNSは「知らんけどニュースらしいで 知らんけど」ぐらいに思っている。
桂文珍さん（かつら・ぶんちん＝落語家）

オオ!! 文珍さんも関西人 やっぱりうわさ話の SNS には「知らんけどな!!」が出た。

また、知人の名前が思い出せないのは しょっちゅうです。

「ええ……と」と考え込むと「***やがな」と。「そやった そやった」と

「今此処へ 何を取りに来たたのかなあ…」と思うことも

また、後日談になるが、この参議院選 SNS 登場の異常な選挙戦の中での SNS 世代の若者たちの選択
誰がこんな結果になると予想しただろうか…

でも とにかくにも時代が変わる よう 知らんけどな…と。 Mutsu Nakanishi

文 化

2025年(令和7年)

8月21日

木曜日

神戸新聞社
〒650-8571
神戸市中央区東川崎町1-5-7
www.kobe-np.co.jp



落語的見聞録



AIが、苦手な世界ハ：

残響、いや酷暑がいつまど両首脳が記者会見をする
で続くとやら。何かしら 和らげて、どうも仕事らしい。
5月の末からずいっと8月 和らげて、どうも仕事らしい。
8月8日、そして10月 和らげて、どうも仕事らしい。
なるのではないかと、思う (AI) だったら、そんなコ
ような日々、丹波市は7月 和らげて、どうも仕事らしい。
の末に41.2度というよう 最近ではスマホにもAI機
な気温となり、日本中にニ 能が付いている。米国のオ
ニュースで報じられたものだ ープンAIやグーグル、中
から「師匠、日本一、おめ 国のAI：そんな中、日本
でどう」と訳の分からない のスタートアップ企業「サ
あいつをさげ「いや、私 カナAI」という会社は日
は丹波篠山市が美家だ...」 本独自で使い勝手の良いA
と説明するのも面倒で放っ Iが進むことを私は期待し
ておいたら、3日ほど後、 ている。さこのAIが今
群馬伊勢崎市でもっと気 後、どのようになるのか、
温が高くなり、その友人が いろいろと考をいふうち
「さすが丹波の国は貴明 に、新作落語「AIル・問
智光秀公が治めていた故、 答」なるものが生まれまし
気温も三日天下でしたな」 た。

その後、お英、終戦記念 落語には、物知りで世話
日ど、わずかな日を美家 好きの甚兵衛さんが登場す
て過していた。テレビで 登場で誰も相談や質問に来
はトランプ氏とブチン氏 なくなった。AIが即座に
がアラスカで中身の無いに 答えてくれるからだ。
等しい会話をしていた。そ 暇でポーンとしている甚
れでも会話は美りがあった 兵衛さんのところへある 家

日、会話型のAIがホログラフィーで人間の姿になっ
て訪ねて来る。甚兵衛さん
は喜んで、まま上がり、
AIはフワッと昇る。
「いやいや、そやない。こ
の座敷に上がりに。す
ると対話型のAI」指摘
ありがどうもきいます。テ
ータに入れておきます。間
違いを心から反省いたしま
す。「丁重やけど、何か腹
立つ。大体、君に心は無い
やろ」「それを手ひたいの
です」「人間には喜怒哀楽
というものがある」「エ？
キド？ 希去？ レアア
ース？」と人間を理解しよ
うとさまままなことを字ほ
うとするが失敗続き。AI、
姿を消す時、甚兵衛さんの
「授業料は？」に「ワレワ
レニ感情ハアリマセンと、
ギャグ、ユーモアまみれ。
落語はAIが苦手な世界
です。
(かつら・ぶんちゃん落語

次回9月18日

今回は今はやりの「AI」 スマホや PC にもインストールされていて 言葉は知っているが、中身はよく知らない。それでも パソコンの google 検索に問かける調子で PC にある AI に問かけてみる。「ふむふむふむ」という答えが返ってくることもあれば、笑うこともある。最近では就職の面接の書面づくりに使う学生根多いと聞く。おいおいと。

とにかくまだ、AI は魔物。中身は不明。だから文珍さん 真意はわからねど まだ信用するのは禁物か… しっかり、使うのは自分やとまだまだ意識しておかねば… そういえば、TV の画面で、故人のメタバースとの AI 会話の記録映像が映し出されていた。是非はともかく、「もう、時代はここまで来たのか…」と。文珍さんの話に爆笑するもよし。また、深刻に考えるのもよし。そんな時代になったのですね。 From Kobe Mutsu Nakanishi



5. 鉄の話題【リンク掲載】 <https://infokkna.com/ironroad/iron25list.htm>

1. 良く見えなかったレアアースの供給と課題 インターネット資料収集
2. 今 世界で1億/日を超えるアクセスが話題に 地球一年ごとの歴史のカプセル若狭「水月湖」
3. 鉄の話題 【鉄創世記プロジェクト通信 転記 & 低炭素社会社会構築のために】

1. 良く見えなかったレアアースの供給と課題 インターネット資料収集 2025. 9. 10.

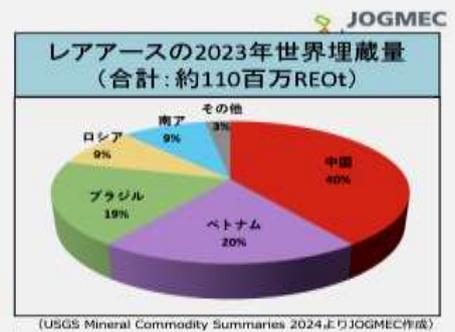
「レアアース 供給先が中国に限られている不思議??」 高度情報化社会構築に不可欠な「レアアース(REE)」その供給先は今や中国に限られている その理由の一端をインターネット、切り抜き収集
 日本でも小笠原諸島 南鳥島近海の深い海中泥の中に大量のレアアース(REE)が確認されている。
 ヨーロッパ・アジア・アメリカを含め、埋蔵が世界で確認されているにもかかわらず、開発が進まず、その供給は今や中国外交の切り札に。 不思議に思っていました、 その理由の一端
 この課題の解説等インターネットで見つけ、切り抜き収集
 知らないのは私だけかもしれませんが……ご参考まで Mutsu Nakanishi

■参考 OGMEC 令和6年度金属資源セミナー・クリティカルミネラル需給動向ブリーフィン

レアアースの供給と課題 https://mric.jogmec.go.jp/wp-content/uploads/2024/06/mrseminar2024_01_02.pdf

レアアース (Rare Earths Elements: REE) とは

- レアアースは、レアメタルの一種で17種類の元素（希土類）の総称であり、多くの優れた物理的・化学的特性を持つことから、先端技術を用いた製品には不可欠な素材。
- 特に、強力な永久磁石に必要な元素であり、EV自動車のモーターや風力発電用の永久磁石に使われる。
- 化学的性質が類似しているため、自然界ではほぼ一体となって産出し、元素単体の鉱床は存在しない。
- 鉱床の種類によって17元素の構成比が大きく異なっている。



周期表上のレアアース



世界の磁石向け軽希土類のサプライチェーンの現状

- 鉱山からの鉱石生産の偏在性は解消されつつあるが、分離・精製～磁石製造工程に占める中国のシェアは依然として大きい。
- 現在、特に分離・精製以降の工程を多角化する動きが、各国で進んでいる。



レアアース覇権、環境汚染のみ込んだ中国 40年の計で生産ほぼ独占

日本経済新聞 レアアースと覇権(1) 2025年6月16日 11:00 (2025年6月21日 19:28更新)

<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOGM12BUB0S5A610C2000000/#k-think>

分析・考察 鈴木一人 東京大学 公共政策大学院 教授

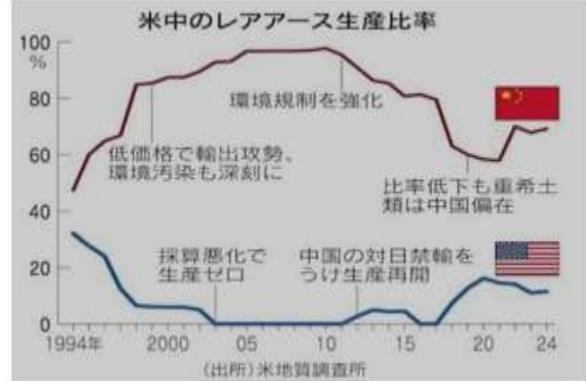
中国がいかにしてレアアース大国となり、それを「武器化」することに成功しているかをまとめた良記事。中国は1986年の「863計画」で現在に至るまでの様々な産業政策の青写真を描き、それを忠実に実行することで「世界の工場」の地位を手に入れたが、皮肉なことに、「863計画」はアメリカのSDI(スターウォーズ計画)に触発されて始まった計画であった。

それが「中国製造2025」と発展し、現在のような競争力を得ることになっている。

環境コストの低さで生産を伸ばした中国だが、土塊からレアアースを抽出する技術などは他国にない技術を持っていて、容易に中国の代わりになる存在はいない。



レアアース工場から排出される汚染された水 (2010年、内モンゴル自治区)=ロイター



【資料収集】重要鉱物、中国支配の実相 コバルトやリチウム...供給リスクに備えを

日本経済新聞 Deep Insight 本社コメンテーター 松尾博文 2025年7月9日

トランプ米大統領が中国にしかけた関税戦争があらわにしたのは、重要鉱物のサプライチェーン(供給網)をめぐる中国支配だった。分断が拡大する今、レアアース(希土類)の次に中国が出す切り札は何かに世界は身構える。相撲に「けたぐり」という決まり手がある。立ち合いの際に体を開き、ぶつかろうとする相手の足を払って前に倒す。相手の勢いが激しいほど効果的だ。



右は中国内蒙のレアアース鉱山。同国はレアアースなど重要鉱物の供給網を支配する

トランプ氏は中国に勇ましく高関税を課して見せたものの、中国が4月に繰り出したレアアースの輸出規制というけたぐりにあっけなく関税引き下げに追い込まれた。

6月に中国の習近平(シー・ジンピン)国家主席と電話会談したトランプ氏は「習氏がレアアースの輸出再開に同意した」と語り、米国にとってこの問題がいかに大きいかを隠さなかった。

レアアースは電気自動車(EV)のモーターに欠かせず、生産の約6割が中国に集中する。

輸出規制で米フォード・モーターの工場は一時生産が止まった。スズキも小型車の生産を止めた。

輸出規制が明らかにしたのは中国産レアアースを欠くと世界の自動車産業が立ちゆかない現実だ。

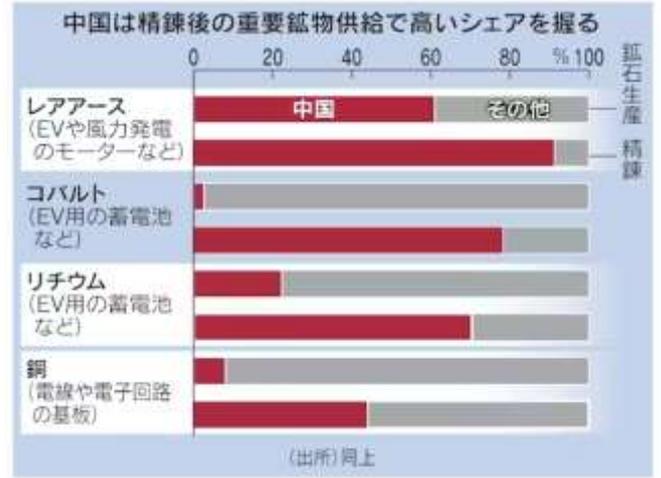
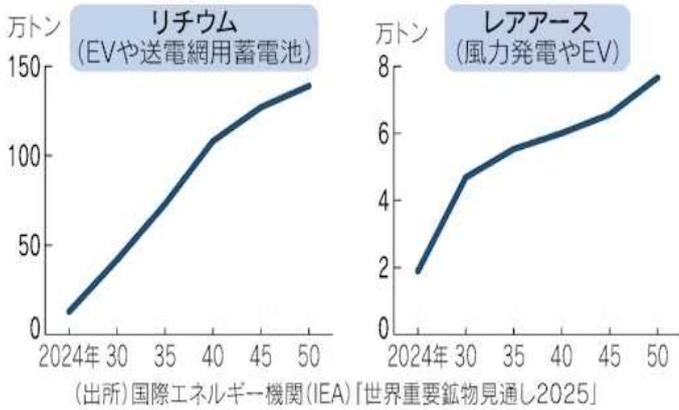
精錬や関連製品でも大きなシェア

レアアースは一例にすぎない。国際エネルギー機関(IEA)が5月に公表した「世界重要鉱物見通し2025」は中国の鉱物支配の衝撃的な数字を明らかにした。レアアースや黒鉛など中国が主要な産出地である鉱物だけでない。

調査した20鉱物中、19鉱物について中国は精錬でも平均で7割のシェアを握る。

精錬とは鉱石から不純物を取り除き、純度を高めた中間原料に加工する工程だ。

脱炭素技術向けの鉱物需要は急拡大する



たとえばEV用の蓄電池に欠かせないコバルトは生産の7割弱がコンゴ民主共和国に集中するが、精錬段階のシェアでは中国が約8割を押さえる。

石油や天然ガスと比べて、重要鉱物の市場流通量は小さく、少しの供給量変化が大きな価格変動をもたらす。産出量が多い銅でも精錬では中国が4割超の最大シェアを押さえる。

重要鉱物が脚光を浴びるようになったのは、脱炭素に向けたエネルギー転換に必要となる技術や製品に不可欠だからだ。

人工知能(AI)の進展に伴う電力需要の増大で新たな送電網を整備するには電線の材料となる銅も必要だ。

目を背けることができないのは、鉱物の採掘や精錬にとどまらず、これらを使う技術や製品群まで中国の支配が及びつつあることだ。

中国は太陽光パネルの約8割、風力発電機の約6割、EV用蓄電池は7割超を押さえる。

エネルギー転換が進めば進むほど、中国依存度が高まる仕掛けだ。今回はレアアースだった。

中国はいくつものカードを胸に忍ばせ、必要に応じカードを繰り出せることを認識する必要がある。

「一帯一路」も資源確保を後押し

いつの間にこんなことになったのか。

エネルギー・金属鉱物資源機構(JOGMEC)の竹原美佳氏は「中国は1980年代からレアアースに着目してきた。

当初は採掘に伴って出る放射性廃棄物などの処理をめぐる環境規制が日米欧に比べ緩かったこともあり、コスト競争力で優位に立つ中国企業に他国企業は対抗できず市場から締め出されていった」と語る。

広域経済圏構想「一帯一路」も資源確保を後押しした。

経済協力をからめてコンゴ民主共和国のコバルト鉱山や、インドネシアのニッケル鉱山に次々と投資した。

市場開拓の担い手となる中国企業のアニマルスピリッツも無視できない。

九州大学の堀井伸浩准教授は中国の産業が国際市場で競争力を高める場合、「巨大な国内市場を苗床にそこで勝ち抜いた企業が世界市場に出て行く勝ちパターンがある。クリーンエネルギー分野も例外ではない」と説明する。そのうえで中国企業間でも盛衰の激しい太陽光パネル市場を例に、「中国の国内市場は温室ではなく苛烈な競争の嵐が吹き荒れる。



再生可能エネルギーの拡大に伴い重要鉱物の需要も増える (米カリフォルニア州の風力発電所)=ロイター



電気自動車(EV)の拡大にはレアアースなど重要鉱物が欠かせない(米カリフォルニア州のEV充電設備)=AP

国家の産業政策は市場の立ち上げ段階にとどまり、苛烈な競争の下でトップ企業が数年後には消えていく状況でも政府は傍観してきた」と指摘する。

地政学リスクを経営改革のチャンスに

供給網の中国支配の危険性はここ数年指摘されてきた。製造業再興を掲げるトランプ氏の大統領復帰で一気に表面化した。いびつな依存状況は遠からず覆い隠せなくなっていたはずだ。

日本は突然の供給網途絶にどう備えるのか。

豊富な埋蔵量が期待される日本近海でのレアアース採掘は有望だ。

ただし、中国の優位を崩しかねない動きは「海域での中国軍や海警局の活動を活発化させ、安全保障上の緊張を招きかねない」(日本政府関係者)。

重要なのは対抗するカードを1枚でも多く持つことだ。

供給網の多重化や調達先の多様化、重要鉱物を使わない技術やリサイクル技術の開発などを全方位で進め、いざという場合にいつでも切る体制を整える必要がある。

企業にとって地政学リスクや経済安保への対処は今や重要な経営課題だ。オウルズコンサルティンググループの羽生田慶介最高経営責任者(CEO)は「供給網の安全確保は平時から一定のコストがかかることを覚悟する必要がある。供給網のコスト増分を製品ラインアップの見直しなど事業全体でコストを下げる経営改革の好機にすべきだ」と指摘する。日米の関税交渉は着地点がみえない。日本は米中のはざまで窮地に陥る供給網リスクを経済安保の強化につなげることができるのか。貿易立国の覚悟が問われる。

南鳥島に眠るレアアース、世界3位の量

中国輸出規制の資源も豊富レアアースと覇権⑤

レアアースと覇権 2025年6月20日

電気自動車(EV)などに欠かせないレアアース(希土類)の確保は国内産業の懸案だ。生産の7割を握る中国が米国との対抗で輸出を規制し、国内メーカーの生産停止にまで波及した。

日本の海底資源「レアアース泥」は規制対象である「中・重希土類」も豊富に含む。資源の安全保障を確保する観点からも、開発の重要度が高まる。

日本の海域には有望なレアアース資源が眠る。

東京大学の加藤泰浩教授らの研究チームは2013年、日本最東端にある南鳥島(東京都)周辺の海底から、レアアースを高濃度で含む「レアアース泥」を発見した。南鳥島の有望海域(2500平方キロメートル)のみでもレアアースの埋蔵量は1600万トン超と世界3位の規模があるとみられる。

25年に入って日本政府はレアアース泥の開発に注力する方針を打ち出した。

4月には深海6000メートルからレアアース泥を引き揚げる「揚泥管」の接続試験を開始すると表明した。政府は28年度以降を目標にレアアースの生産体制を整える。特筆すべきは中国の輸出規制で希少性が強く意識される中・重希土類を多く含む点だ。

レアアースは軽希土類と中・重希土類に大別され、中・重希土類は中国産が大半だ。

中国政府が4月に発表した輸出規制の対象であるジスプロシウムなど7種類は中・重希土類にあたる。

東大の加藤教授によれば、レアアース泥の含有量の5割程度が中・重希土類だという。

商業化に向けては採算性が課題となる。



日本の海域には世界有数のレアアース資源が眠る。左は南鳥島、右はレアアース泥

21年に東京大学レアアース泥・マンガノジュール開発推進コンソーシアムで試算した経済性評価によると、1日あたり3500トンのレアアース泥を引き揚げることができれば「過去20年ほどのいずれの価格帯でも採算が取れる」（東大の加藤教授）という。

レアアース泥の開発に向けて進行中の内閣府の戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)では、27年1月以降に1日あたりで350トンに相当する揚泥を目指している。

今後は揚泥量を伸ばせるかが焦点だ。泥などを引き揚げたあとも、陸から離れた海域から運ぶ費用がかかる。実際にレアアースとして使うには、純度を上げる精錬技術も必要だ。だが地上でとれる資源と違い、海底の泥から精錬する技術は未完成。産業に応用するまでの技術的な課題は多い。

環境負荷への配慮として、生態系に対する影響の調査といった取り組みも求められる。

米中対立の激化で、レアアースの調達是不透明感が高まる。

専門商社プラネット(東京・港)の川崎豊代表取締役は「レアアースまで中国の輸出規制の対象に加わって困惑した」と語る。

欧米の自動車・部品メーカーの一部操業停止にも波及し、スズキは小型車「スイフト」の生産停止という事態に陥った。

中・重希土類は取引価格も急上昇した。

英調査会社のアーガス・メディアによれば中国外の価格指標となる欧州価格で、ジスプロシウムとテルビウムは5月月初時点の価格が1カ月前から約3倍に急騰。データが遡れる2015年5月以降での最高値となった。6月上旬時点でも最高値圏での推移が続く。

国産レアアースを採掘・精錬するハードルはなお高い。

ただ希少鉱物の覇権を外国に握られたままでは国内のハイテク産業の成長はおぼつかない。省資源化や再利用を含め不断の技術革新が欠かせない。

| 中国が輸出規制した中・重希土類 | |
|-----------------|--------------|
| 元素 | 主な用途 |
| サマリウム | モーター用磁石 |
| ガドリニウム | MRIの造影剤 |
| テルビウム | モーター用磁石 |
| ジスプロシウム | モーター用磁石 |
| ルテチウム | がん画像診断用の検査装置 |
| スカンジウム | 燃料電池 |
| イットリウム | 発光ダイオード |

(山田周吾、矢野撰士)

今回 internet から収集資料の 収集時期・収集時間経過がバラバラになっています。

TV や新聞記事見ても、レアアースの経済的価値・実用のための「鉱物採掘・選鉱→分離精錬→搬送→精錬と→合金化等々の実用プロセス技術の中身」と各工程で引き起こす環境課題の解消などいわゆるサプライチェーン構成と経済性・プロセス技術の完成度がよくわからず、また、各国の政治・経済・環境課題が複雑に絡み合っ、中身の進行評判断がむづかしい。調べた記事の妥当性についても刻々変化し、人それぞれ現在進行形と。

2024年10月の独立法人 エネルギー・金属鉱物資源機構 2024 ブリーフィングのまとめを記載し、これら資料収集のまとめとさせていただきます。 From Kobe Mutsu Nakanishi

まとめ

- ◆ REEショック後、レアアース鉱石供給源の多様化が進展し中国の寡占度は低下傾向であったが、2022年以降、中国の増産傾向が強くなっており、7割程度の寡占度で推移している。
- ◆ 軽希土類は世界のサプライチェーン全体で脱中国依存が進む一方、中重希土類の生産（採掘・分離精製～金属化）はいまだ、イオン吸着鉱の主な生産地である中国、ミャンマーへの依存度が大きい。
- ◆ 2024年1月、2大レアアース企業への生産集約が明確となり、同生産企業による市況への影響力増大が危惧される。
- ◆ 中国におけるイオン吸着鉱の採掘計画は近年増減が無く、今後の大幅な生産増は期待できない。
- ◆ 中国は世界最大のレアアース供給国であると同時に、世界最大のレアアース消費国でもあり、米国・ミャンマー等より多くの原料を輸入しているため、供給元の動向にも注意が必要。
- ◆ 磁石向けレアアースサプライチェーンの多角化に向けて、多くの鉱山開発、分離精製プロジェクトが動き出しているが、市況の下落等により、新規プロジェクトの進展に影響が出始めている。
- ◆ 埋蔵量世界第2位とされているベトナムのレアアース鉱山開発権を巡り、韓・米・豪の政府・企業の活発な動きがみられたが、関係者の逮捕事件を受け、入札非開催という不透明な状況のまま、最終的に韓国企業が開発権を取得する結果となった。
- ◆ 中国外における使用済み磁石リサイクルPJは試験生産が始まっているものもあるが、各PJの年間磁石処理計画量は最大で、ネオジム磁石世界生産量の約3%程度に留まっている。

2. 今 世界で1億/日を超えるアクセスが話題に 地球一年ごと1万年の歴史が詰まるカプセル若狭「水月湖」

若狭「水月湖」地球の温暖化に伴う地球環境の激変への対応のヒントを求めて

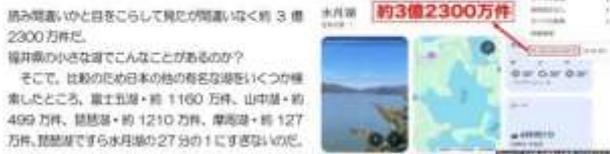
11年ぶりに始まった「水月湖年縞」採取の掘削が始まった若狭水月湖に世界が注目

始まった大注目 の壮大研究。その中身

1年も欠けることのない7万年分の年縞 若狭湾三方五湖「水月湖」の年縞
ホモサピエンスがたどった7万年の歴史が詰まったタイムカプセル
福井県水月湖が、なんとGoogle検索で3億件超/日のヒットの「異常事態」という
水月湖での「11年ぶりの掘削」がその数字を弾き出しているという



ソース: フルーツボックス | 調理学社
<https://share.google/DSDbGdznZxGUPCCK6>
https://gendai.media/articles/-/155891?imp=0#google_vignette

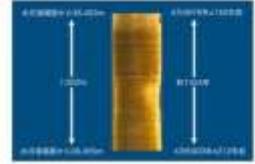


1年も欠けることのない7万年分の年縞 若狭湾三方五湖「水月湖」の年縞
年縞の中には地球で起こった出来事を示す数々の遺物が詰まっている
7万箇のタイムカプセル

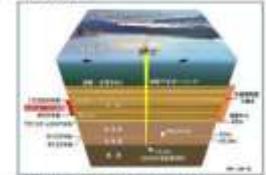
水月湖は最大水深が34mだが、その湖底下には范の堆積層が最深部の岩盤層まで最大で100mも続いている(かつての山が沈没してできた湖ゆえに)
湖底は起伏があるので、堆積層の厚さが約100m。この堆積層の上約45mには、薄い層々がある范の堆積が詰まっている。縞の1枚は約0.7mm。

この0.7mmは1年かけて積もったもので、45mでは約70年分になる。この縞々を「年縞(ねんこう)」と呼ぶ。1層分、0.7mmの薄い層一枚には春夏秋冬の遺物、葉脈、動物の足跡(動物糞)、土壌(堆積物)など、その他のプランクトンの化石、植物質(堆積土)、さらに火山火による火山灰や木の葉の化石、そして花粉が詰まっている。水月湖の年縞は7万年分が1年の欠けもなく連続している。湖上部から縞々を取ればすべての年の年代がわかる(2008年の掘削では4年かけてその年の縞が採れた)。たとえば、上から3万3873層目の縞は3万3873年前なので、その縞にある遺物を調べると、3万3873年前にはどんな事件(自然現象)があったかがわかるのだ。

直面する激変する地球環境に対する情報等を水月湖の年縞から引き出すプロジェクトが世界から注目されているという。全く知らずでした。



水月湖「年縞」の1m分びこころは約1424年分



2025.8.14 インターネット検索より 山根一眞 氏の記事より

<https://share.google/DSDbGdznZxGUPCCK6>

https://gendai.media/articles/-/155891?imp=0#google_vignette

2025年夏の掘削はかつてない壮大な構想の研究プロジェクト、『「暴れる気候」と人類の過去・現在・未来』の一環として行われた(日本学術振興会、2014年度の科学研究費助成事業、研究期間・2024~2028年度)。

花粉は過去を知る寒暖計

年縞がなぜ「気候」を解くことにつながるのか。

それは、水月湖の年縞には「年代決定のモノサシ」と並ぶもう一つのお宝が詰まっているからだ。

今『暴れる気候』プロジェクトは、水月湖の年縞に封じ込められている花粉による古気候学研究を大きく発展させ、このプロジェクトのための年縞(通称「SG25」)掘削が開始した2025年の夏はかつてない酷暑で、夏も涼しいはずの北海道では7月24日に北見市で39度C(観測史上1位)となり、後、各地で40度C超の熱暑が続出、8月5日には群馬県伊勢崎市で国内史上最高気温41.8度Cを記録した。

また、7月は雨が少なく異常渇水で「コメが枯れ始めている」と言われ始めた矢先、8月上旬には北陸地方の一部や鹿児島県では観測史上最大の大雨が見舞った。まさに「暴れる気候」だ。

この十数年、毎年のように「異常気象」が報じられてきたが、それが一時的なものなのか、今後も続くのか、なぜそんなことが起こっているのか、ニュースでは的を射た「解」は伝えられないままだ。

「生命に危険をおよぼす暑さ」「命を守るための対策を」など、高い気温が人々の生命を脅かすぞという警鐘を日々耳にすることなどかつてなかった。誰もが、さらに危険が増大するのかという不安を覚えている。

だが今回は、掘削開始とともにマスコミが殺到するなど『暴れる気候』プロジェクトへの関心はことさら高かった。Googleの検索数が型破りだったのは、暑さの厳しさが大きかったこともあるかなと思う。

2025.8.14 インターネット検索より 山根一眞 氏の記事より

参考 ホモサピエンスがたどってきた7万年の連続タイムカプセル 水月湖年縞

◆ 日本地球惑星科学連合ニュースレター誌(JGL) vol 11 名古屋大学 北川浩之
水月湖年縞プロジェクト 過去5万年間の大気中の大気中のC14 CO2 変化

<https://www.jpгу.org/wp-content/uploads/2018/03/JGL-Vol11-2.pdf> page1.



年縞博物館展示の花粉模型。

左・コメツガ、中・ウルシ属、右・スギ(写真・山根一眞)

3. 鉄の話題 【鉄創世記プロジェクト通信 転記 & 低炭素社会社会構築のために】

■ 鉄創世記プロジェクト(4)受信転記

私も松山で隕鉄を鍛えています 2025.8.16.

隕鉄円盤に肥後象眼で古代エジプト神話の「ホルスの眼」が刻まれました

人類が初めて手にした鉄器 人工鉄器製作の始まりに迫る原始鍛冶復元プロジェクト

鉄創世記プロジェクト(4) リーダー 愛媛大学教授 村上恭通氏メールを受信整理して

本プロジェクトでは地球最古の鉄器であるエジプト・ゲルゼ墓地のビーズを筆頭に 25 点の隕鉄製鉄器復元 を目指しています。現在 20 点は復元が完了し、その半分は研磨もほぼ終了しています。

あと 5 点ほど、鍛造しなければなりません。私はこれからモンゴルに渡り、古代遊牧民の製鉄遺跡を発掘調査します (8 月 20 日~9 月 12 日)。その 5 点は帰国後、着手することになります。隕鉄を鍛え始めて約一年。鍛造に適した隕鉄の獲得に予想以上に時間を要し、鉄器の完成が少し遅れています。

このような状況ですから私も隕鉄を鍛造しています。

松山には「釘千年の命」で知られる故白鷹光伯さんという野鍛冶がい らっしゃいました。私が約 30 年前、松山に赴任した際、あいさつに行くと「来るのを待ったよ」と迎えていただきました。古代の大工道具に通じ、考古学の本や論文も本棚に並べる人でした。弥生時代や古墳時代の鍛冶に関する私の研究に関心をいただき、私自 身もその工房で何度もご指導いただきました。石の鎚と鉄床による弥生鍛冶の復元はこの工房で初めて行われました。現在、ご子息である興 光さんがそのあとを継いで庖丁や釘を鍛えていらっしゃいます。



隕鉄を鍛造しています(白鷹鍛冶所・松山)



復元した隕鉄製鉄器の一部

今、私はここで興光さんの仕事を邪魔しないように、時々手伝っていただきながら土日を中心に隕鉄を鍛えています。もちろん鎚は銅製、鉄床は石。鉄だけはどうしてもいい代用品がなく鉄 製を使用しています。工房にはエアコンはもちろん扇風機もなく、とにかく暑く目がくらむほどですが、灼熱の隕鉄に銅の鎚を通じて私の力が伝わる感触を楽しませていただいています。

【速報】 製作された隕鉄円板に 素晴らしい古代エジプト「ホルスの眼」の肥後象眼

隕鉄鍛造円盤を使って肥後象眼の取組果たして隕鉄に象嵌ができるのかどうか。大住さんに相談すると、できるかどうかわからない、隕鉄中に傷が多いようであれば難しいかもしれない、とはじめは慎重でしたが、挑戦してみようと松山で鍛造し成形した隕鉄の小型円盤を受け取っていただきました。隕鉄はカンボ・デル・シエロ産。大まかに形を整えて、さらに両面を研磨すると数の細かな亀裂がありました。それでも大住さんには取り組んでいただきました。ただ、あろうことか文様を考えていませんでした。熊本城の別称「銀杏城」を思いつき、イチヨウはどうかと考えましたが、その次に隕鉄→ツタンカーメン王→古代エジプトと連想し「ホルスの目」に辿り着きました。



肥後象嵌 光助



光助 4 代目 大住裕司さん (左) と私



松山で鍛えて研磨した隕鉄製円盤

挑戦だという大住さんのお言葉以降、自分自身も隕鉄鍛冶に追われて肥後象嵌を失念していましたが、なんと本日 (18 日)、完成品が届きました。すばらしい。魅力的です。是非多くの方々に見ていただきたいと思います。肥後象嵌ホルスの目をもつ隕鉄円盤、世界で一つのものではないかと思ひます。



隕鉄に金象嵌されたホルスの目



裏面の小さなイチヨウの葉中央に大きな亀裂が見られる

人類・鉄創世記プロ リーダー 愛媛大学教授 村上恭通 2025.8.18. 発信



6. 仲間からの便り

【リンク掲載】 <https://www.asahi-net.or.jp/~zp4m-nkns/monthlyindex.htm#9> 月初秋の風 神戸便り

■ MAさんからの定期便 今月の言葉 ニューモラル誌 8・9・10月号より 拡大:下記写真の上でクリックしてください。

8月 選びたくなるのはどっち

9月 長寿社会を生きる

10月 満足? 不満足?



老いと向き合う年になって、やわらかい言葉に出会えると気が晴れ、またがんばろうと 今日も一日 Nice Day!! 笑顔も忘れずに いつもありがとう。2025.10.1

添付 1. 文珍さんの落語的見聞録 8・9月 神戸新聞朝刊 7月17日 & 8月21日より整理転記

<1> 思い出した!? 「三枝さん」 <2> AI ガ苦手ナ世界ハ・・

添付 2 【和鉄の道 2025】 鉄の話題 「レアアース 供給先が中国に限られている不思議???'

高度情報化社会構築に不可欠な「レアアース(REE)」 2025.9.10.

でもその供給先は今や中国に限られている その理由の一端をインターネット、切り抜き収集

添付 3. 新聞・インターネット News 9月 気になったニュース 切り抜き 4件

■ どうなるコメ価格 政策転換の壁は高値を守りたい「JAと族議員」?

■ トランプ大統領の「強権と失望のはざまに揺れるアメリカ」 トランプ政権のやり方に、アメリカ一般人はどう見ているのだろうか・

■ 神戸新聞朝刊「オピニオン」より

【現論】驚きの参院選結果 「裏の言論」が公然化 【視標】武力に頼り洗脳 日本と同じ道 イスラエル犯す

■ 神戸新聞コラム「正平調」2025.9.20. 理屈も 思想も 宗教も 何も知らんでいい ただ 戦争にNo! という



【9・10月初めの便り from Kobe】

◎ 味覚の秋・彼岸花が飾る里の秋

◎ 南へ帰る渡りの蝶「アサギマダラ」

快晴の10月8日午後2時30分 うれしい飛来確認

◎ 日本世界が混乱する時代の今 "生"の音が聴きたい

9・10月インターネットや新聞 気になるニュースより

◎ 忘れてはならぬ人を思い浮かべて

◎ 桂文珍さんの落語的見聞録

◎ 仲間からの便り

本年8月 独立系の今も日本各地に残るリードオルガンを訪ねるルポ映画「風鈴」をみていて、びっくり。

かつて、おふくろが弾いていたオルガンとそっくりのオルガンが、出てきました。

懐かしさとともに、昔の思い出がいっぱい。かつては学校や教会等いろんなところで使われていましたが、

ピアノの普及と共にほとんど使われなくなり、いまや製造も中止され、古い教会を中心に残っているだけというリード

オルガン。我が家のオルガンも妹のピアノと入れ替えになくなったのか?? 記憶も定かでない。今は数少ない調律師

とともに、日本各地に残るリードオルガンを訪ねる旅。 仲間の同窓会が信州で会った折、オルガンが置かれた記念館

で、仲間みんなで唱歌を合唱した思い出。神戸の教会や松山・山口・九州 かつて歩いた懐かしい思い出が次々と。

家にあったあの立派なオルガン おふくろと共に懐かしいひと時を映画で過ごしました。また、そんな8月 息子一家

から丹後天橋立近くのの口ロッジが取れたので、一緒に行かないかとの誘い。

丹後は親父のふるさと。 もう知り合いもなくなり縁遠くなっていた丹後でしたが、

親父の在所を訪ねる思わぬプレゼント。久しぶりの丹後 我が家のルーツの丹後の記録スライドの収蔵に。
仲間や知人の訃報に、かつてを懐かしむこともしばしば。
本年は酷暑とともに、こんな思い出深い夏送りと初秋になりました。
酷暑に家にこもることが多かった夏の記録も含め、
やっとホームページの更新並びに製本版の和鉄の道の作成も完了。
でも この秋が猛烈なスピードでかけて、あっという間に コスモスが咲く季節に。
もう 全くスピードについて行けなくなりましたが、家族ともども元気に毎日を送っています。
いつも ありがとうございます。

ドジャース 大谷さんはブリュアーズ相手に10三振の好投と3本の手だの固め打ち
前人未踏の活躍でワールドシリーズへ。おいしいお酒をいただきました。

God Be With You!! 今日も一日 Nice Day!! From Kobe Mutsu Nakanishi



2025.10.17. 神戸総合運動公園 コスモスの丘で 酷暑で今年は花が少ない でもうれしい



海・山・街もそして人も 目にする景色はみんな秋景色
遅ればせながら、まとめた神戸便り
なにかころに響くものがあればうれしいです
老化と向き合う厳しい状況 みんなどうしてるかなあ・・
思いが駆け巡る中で出会った4連のサギソウ その姿にほっこりと。
是非はともかく若者たちがこの夏巻き起こした新しい風!!
日本の未来を変える原動力になるよう
若者たちも責任を果たす行動と意見を異にする人たちにも
目を向けてほしいなあ!! さあどうなる日本の行く先
呪文のように唱えてきた、

「人類が生き延びてきた道のキーワード

:人類だけが有する相手を思う心」

その原点がむべもなく壊されてゆく。

今回であった言葉

私の好きな絵本作家 長谷川義史さんの言葉

「理屈も 思想も 宗教も なんもしらんでいい

ただ 戦争に NO! という」

2025.9.20. 神戸新聞 正平蝶 より

家内はいつも一言 「そんだけ よう ぶつぶつ言うなあ」と
そうだよなあといいつつ また 一言 歳老いたぶつぶつ
関西流に「よう知らんけどな」の一言も付け加えて。

夏川草介 「エピクロスの処方箋」の読書感

す〜と頭に入って、清々しい

2025.10月 Mutsu Nakanishi



<1> 思い出した!? 「三枝さん」 2025.7.17.

最近、丹波篠山の実家の固定電話の調子が悪く、プーと鳴っているだけで通話ができない。これはいかんと、電話機を買った電器屋さんに参上、事情を話すと「今スタッフがいないので、帰りましたらすぐ参ります」「で、何時ごろに来てくださいますか」と問えば、「わかりましたら電話します」「…?? いやその電話機が調子悪いんです」「いや携帯の方に」「あの一私、携帯使わないんです」「エー！」。



まるで旧石器時代の人間を見るようなまなざし。少々あまのじゃくな私はスマホを持たない。情報過多の時代、いらぬ情報に振り回されたくない、SNSなんぞに時間を取られたくない等々の思いで、今日まで使わずに来た。

「じゃあ この時間なら家におりますのでよろしく」と伝え、家で待っていると、親切な電器屋さん、こちらに合わせて来てくださり、調べた結果、電話機は大丈夫、どうやら電話線の回路の問題だろうとわかり、後日、NTTの方に来てもらえることとなった。

当日、待っていると高所作業車を運転して専門の工事の方が来られ、いきなり「あっ、エー！わあ…落語の…」と私の名前が出てこない。スマホで調べたかったのだろうが、仕事優先。2時間かけて電話が通じるようになった。作業車が道路に止まっているので赤い旗を持った誘導員さんがいたが、2時間の間1台も車が通らなかった。何というのどかさ。そして工事をしていただいたオジサンに帰り際「お世話になりました」と言うのと車のウインドーを下げて満面の笑みで「ありがとう三枝さん」とおっしゃった。

これホントの話。静かなのどかな実家の庭で私、コケタ！

オジサンはあの時スマホで調べたかったんだろうけど仕事優先で作業している間に思い出されたんだろう、たまたま答えが違っただけだ。

落語「物忘れ」では、今日は会社から早く帰って何かをしようと思っていたが思い出せない。食事しながら…うーん、思い出せない。よし、風呂に入って思い出そう…うーん思い出せない。まあいいか、今日はもう寝よう！アッ！そうだ、今日は早く帰って寝ようと思っていた！と、のどかなもの。

次の日曜は参院選。忘れず行くぞ！

私はSNSは「知らんけどニュースらしいで 知らんけど」ぐらいに思っている。桂文珍さん（かつら・ぶんちん＝落語家）

オオ!! 文珍さんも関西人 やっぱりうわさ話の SNS には「知らんけど!!」が出た。

また、知人の名前が思い出せないのは しょっちゅうです。

「ええ……と」と考え込むと「****やがな」と。「そやった そやった」と

「今此処へ 何を取りに来たたのかなあ…」と思うことも

また、後日談になるが、この参議院選 SNS 登場の異常な選挙戦の中での SNS 世代の若者たちの選択誰がこんな結果になると予想しただろうか…

でも とにかかにも時代が変わる よう 知らんけどな…と。 Mutsu Nakanishi

文 化

2025年(令和7年)

8月21日

木曜日

神戸新聞社
〒650-8571
神戸市中央区東川崎町1-5-7
www.kobe-np.co.jp



落語的見聞録



AIが、苦手な世界ハ：

残響、いや酷暑がいつま...と両首脳が記者会見をする
で続くことやら。何かしら...のが、どうも仕事らしい。
5月の末からずーっと8月...和平に向けて一歩でも進ん
8月8日8月、そして10月...でほしいものだ。人工知能
になるのではないかと... (AI) だったらどんなコ
ような日々、丹波市は7月...メントをするのだろうか。
の末に41.2度というよう...最近スマホにもAI機
な気温となり、日本中に二...能が付いている。米国のオ
ニュースで報じられたものだ...ーブンAIやグーグル、中
から「師匠、日本」、おめ...国のAI...そんな中、日本
でどう」と訳の分からない...のスタートアップ企業「サ
あいさつをされ「いや、私...カナAI」という会社は日
は丹波篠山市が美家...本独自で使い勝手の良いA
と説明するのも面倒...Iが進むことを私は期待し
ておいたら、3日ほど後...ている。さこのAIが今
群馬伊勢崎市でもっと...後、どのようになるのか、
温が高くなり、その友人が...いろいろと考えをいっ
「さすが丹波の国は貴...に、新作落語「AIル・問
智光秀公が治めていた...答」なるものが生まれまし
気盛も「巨大下でしたな...た。」
と笑っていた。
その後、お英、終戦記念...落語には、物知りで世話
好きの甚兵衛さんが登場す
日、わずかな日を美家...る。が、このころAIの
て過していた。テレビで...登場で誰も相談や質問に
はトランプ氏とブチン氏...なくなった。AIが即座に
がアラスカで中身の無い...答えてくれるからだ。
等しい会談をしていた。...暇でポーンとしている甚
れでも会談は美りがあった...兵衛さんのところへある
家

日、会話型のAIがホログ
ラフィーで人間の姿になっ
て訪ねて来る。甚兵衛さん
は喜んで、まま上がり、
AIはフワッと昇る。
「いやいや、そやない。こ
の座敷に上がれない。す
ると対話型のAI」指摘
ありがどうもきいます。テ
ータに入れておきます。間
違いを心から反省いたしま
す。「丁重やけど、何か腹
立つ。大体、君に心は無い
やろ」「それを手ひたいの
です」「人間には喜怒哀楽
というものがある」「エ？
キド？ 希去？ レアア
ース？」と人間を理解しよ
うとさまさまなことを学ば
うとするが失敗続き。AI、
姿を消す時、甚兵衛さんの
「授業料は？」に「フレワ
レニ感情ハアリマセンと、
ギャグ、ユーモアまみれ。
落語はAIが苦手な世界
です。
(かつら・ぶんちゃん落語
家)

次回9月18日

今回は今はやりの「AI」 スマホやPCにもインストールされていて
言葉は知っているが、中身はよく知らない。
それでも パソコンの google 検索に問いかける調子で PCにある AIに問いかけてみる。
「ふむふむふむ」という答えが返ってくることもあれば、笑うこともある。
最近では就職の面接の書面づくりに使う学生根多いと聞く。おいおいと。
とにかくまだ、AIは魔物。中身は不明。だから文珍さん 真意はわからねど” まだ信用するのは禁物か...
しっかり、使うのは自分やとまだまだ意識しておかねば...
そういえば、TVの画面で、故人のメタバースとのAI会話の記録映像が映し出されていた。
是非はともかく、「もう、時代はここまで来たのか...」と。文珍さんの話に爆笑するもよし。
また、深刻に考えるのもよし。そんな時代になったのですね。 From Kobe Mutsu Nakanishi

高度情報化社会構築に不可欠な「レアアース(REE)」 2025.9.10.

でもその供給先は今や中国に限られている その理由の一端をインターネット、切り抜き収集

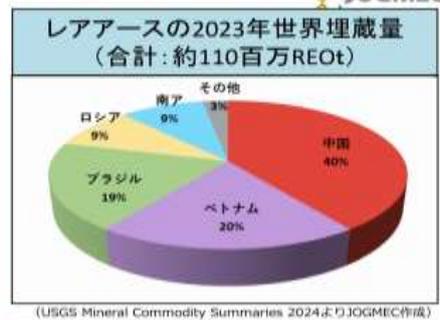
- ◆ 高度情報化社会構築に不可欠な「レアアース」ですが、 その供給先が今や中国に限られている
 一方日本でも小笠原諸島 南鳥島近海の深い海中泥の中に大量のレアアース(REE)が確認されている。
 ヨーロッパ・アジア・アメリカを含め、埋蔵が世界で確認されているにもかかわらず、開発が進まず、
 その供給は今や中国外交の切り札に。
 不思議に思っていました、 その理由の一端をインターネットで見つけ、切り抜き収集
 知らないのは私だけかもしれませんが……ご参考まで Mutsu Nakanishi

OGMEC 令和 6 年度金属資源セミナー・クリティカルミネラル需給動向ブリーフィン
 レアアースの供給と課題

https://mric.jogmec.go.jp/wp-content/uploads/2024/06/mrseminar2024_01_02.pdf

レアアース (Rare Earths Elements: REE) とは

- レアアースは、レアメタルの一種で17種類の元素 (希土類) の総称であり、多くの優れた物理的・化学的特性を持つことから、先端技術を用いた製品には不可欠な素材。
- 特に、強力な永久磁石に必要な元素であり、EV自動車のモーターや風力発電用の永久磁石に使われる。
- 化学的性質が類似しているため、自然界ではほぼ一体となって産出し、元素単体の鉱床は存在しない。
- 鉱床の種類によって17元素の構成比が大きく異なっている。



周期表上のレアアース



代表的なREE鉱物
 モナザイト、
 バストネサイトの
 TREO※に占める
 各元素の割合

※TREO: Total Rare Earth Oxide (全レアアース酸化物換算量)

世界の磁石向け軽希土類のサプライチェーンの現状

- 鉱山からの鉱石生産の偏在性は解消されつつあるが、分離・精製～磁石製造工程に占める中国のシェアは依然として大きい。
- 現在、特に分離・精製以降の工程を多角化する動きが、各国で進んでいる。



(注: 採掘・選鉱フローは希土類鉱石の生産シェアを準用、出典: 各種資料を基にJOGMEC作成)

国産レアアースは実現するのか? インターネットで見つけたコラム

<https://www.sawakami.co.jp/media/webmagazine/202509column/>

レアアースは産業のビタミンとも呼ばれています。磁石に微量混ぜることでより高い性能を引き出すなどの用途に使用され、産業界では不可欠な材料です。しかし困ったことに、レアアース大国の中国がたびたび政治的交渉カードとして持ち出しています。先日もレアアースを使用した部品の輸出規制を行い、日本のとあるメーカーでは一時製造停止という事態に追い込まれました。今後もレアアースの供給には不安定な状況が見込まれ、産業界では大きな懸念材料となっています。

このレアアースは、個別の金属によって事情は異なりますが、全体像で言うなら地球上の至るところに存在し、陸上で発見されているだけでも世界需要の 900 年分程度はあるそうです。しかし採掘されている場所は限られ、その上で最終的な精錬場所(電気分解や化学処理により金属の純度を高めること)は中国に集中しています。その理由は、ビジネス的に美味しくないためです。

国土を汚すわりに取引量が少なく、価格も大きく変動するため、どこもやりたがりません。中国では人件費が安いことに加え、環境規制も緩いのです。

例えば、レアアースの鉱山に硫酸アンモニウムを抽入して溶け出した金属を回収するのですが、その後は放置している状況です。

また掘り出した場合は、放射性物質のウランやトリウムも一緒に採掘されてしまうのですが、除染処理もせずに砂漠地帯に山積みになっているようです。

かくして中国は安値攻勢で世界シェアを高め、今日ではレアアースの供給や価格をコントロールできる状況にあります。



▲ 南鳥: 日本では南鳥島付近の海底から世界3位の推定埋蔵量のレアアースが発見されている (<https://pastimeclip.com/geography/marcus/>)

| 種類 | 定義 | 例 |
|--------|----------------------------|-----------------------|
| ベースメタル | 生産量が多く社会で大量に使用される金属 | 鉄、銅、アルミニウムなど |
| レアメタル | 存在量が稀か、技術的、経済的な理由から抽出困難な金属 | リチウム、コバルト、ニッケルなど |
| レアアース | レアメタルの中でも特に希少な17種の金属 | ネオジウム、ジスプロシウム、テルビウムなど |
| 貴金属 | 希少で耐腐食性がある金属 | 金、銀、白金、パラジウムなど |

▲ 利用価値的側面からの金属の種類分け

この状況に世界は危機感を覚え、中国に頼らないルートで鉱山採掘・精錬を開発しています。

日本では南鳥島付近の海底から世界3位の推定埋蔵量のレアアースが発見され、国産のそれらが実現するかが話題となっています。

来年1月からの試掘開始に向け、既に始動しています。

水深 5,500m の海底から 1 日あたり 350 トンの泥を回収し日本で精錬します。

幸いこのレアアースには放射性物質は存在せず、レアアース濃度も高いとのこと。今後の試掘でより具体的にその費用構造が明らかになり、本格的な採掘をするか議論が始まります。

一方これには端から否定的な意見があることも事実です。

筆者の想定でも、量産となれば採掘・輸送・精錬費用のみならず、南鳥島で中間処理(酸でレアアースを抽出した後に環境負荷を抑えるためアルカリで中和する)施設を建設するなど大規模な初期投資が必要で、価格で中国と競争するのは難しいと考えています。

しかしながら、経済安全保障の面からこれは行わなければならない事業だと思っています。

もはや企業努力のみでは 隣国に太刀打ちできない状況になっており、戦略的投資として国家が面倒を見るべきでしょう。レアアース大国として輸出するほどではなくても、レアアースを自給することにより、政治的に揺さぶられる危険性を回避できるはず。です。

さて、私たちアナリストは関連企業にも注目しています。

その裾野は広く、採掘や精錬のみならずスクラップからのリサイクル、レアアース使用製品、レアアースの削減や代替技術、廃棄物処理・環境技術等、種々の産業があります。継続的に必要とされる企業の見極めをしっかりと行い、応援していきたいと思えます。

【運用調査部 アナリスト 田中 和則】

世界的なレアアース開発の動向 インターネット AI による簡単な検索より 情報抜き書き

From Kobe Mutsu Nakanishi

中国への依存度が高い現状:世界のレアアース鉱石生産の約70%を中国が占めており、中国への依存は依然として大きい状況です。

供給源の多角化:「レアアース・ショック」を契機に、米国や EU などではレアアースの自国開発やリサイクルへの投資を促進しています。

新規鉱床の発見:2023年にはスウェーデンで欧州最大規模のレアアース鉱床が発見され、EUのレアアース供給源多角化への期待が高まりました。

日本におけるレアアース開発の現状

南鳥島沖のレアアース泥:日本の EEZ 内、南鳥島沖の海底に高濃度のレアアースを含む泥が大量に分布していることが確認され、海洋研究開発機構(JAMSTEC)などが中心となり、2026年1月に南鳥島沖で、水深約6,000mからのレアアース泥の試験採掘を実施予定。2028年以降の本格的な採取・分離・精製を目指しており、成功すれば日本のレアアース供給の安定化と産業の活性化に繋がると期待されている。

南鳥島沖のレアアース泥資源の技術的な課題:深海底の過酷な環境(高水圧、低温など)での採掘ロボット開発や、採泥・揚泥技術の確立が不可欠。環境への配慮:深海生態系への影響など、開発がもたらす環境リスクの評価と、それに対応する国内ルールや法制度の整備も必要。

経済性と採算性:海底からの採掘は陸上と比べて困難が伴うため、経済的な採算性を確保できる技術やシステムを構築する必要があります。また、海底資源の開発を巡っては、国際的なルールや利権の配慮も重要となります。

以上レアアース開発には大型のとあーうしを含めた投資が必要であり、環境保護の投資を考えれば、手を出しにくいというのが現状

一方 中国では開発による周囲の環境整備をなおざりにした低コスト・低価格を売り物に生産量を増やし、一強状態だが、環境汚染等国土荒廃や住民への影響も無視できなくなり、規制に目を向けねばならぬ事態が生じている。

【資料収集】 レアアース覇権、環境汚染のみ込んだ中国 40年の計で生産ほぼ独占

日本経済新聞 レアアースと覇権(1) 2025年6月16日 11:00 (2025年6月21日 19:28更新)

<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOGM12BUB0S5A610C2000000/#k-think>

分析・考察 鈴木一人 東京大学 公共政策大学院 教授

中国がいかにしてレアアース大国となり、それを「武器化」することに成功しているかをまとめた良記事。中国は1986年の「863計画」で現在に至るまでの様々な産業政策の青写真を描き、それを忠実に実行することで「世界の工場」の地位を手に入れたが、皮肉なことに、「863計画」はアメリカのSDI(スターウォーズ計画)に触発されて始まった計画であった。

それが「中国製造2025」と発展し、現在のような競争力を得ることになっている。

環境コストの低さで生産を伸ばした中国だが、土塊からレアアースを抽出する技術などは他国にない技術を持っていて、容易に中国の代わりになる存在はいない。

トランプ米大統領の「TACO(Trump Always Chickens Out, トランプ氏はいつも尻込みする)」を明確にしたのは中国のレアアース(希土類)だった。トランプ氏は中国に高関税をふっかけたものの、一方的におりた。中国の輸出規制で世界のサプライチェーン(供給網)が混乱したレアアースのパワーを読み解く。

レアアースはレアメタル(希少金属)の一種で計17種類ある。世界中で広く採取できる「軽希土類」と、存在量が少なく中国に偏在する「重希土類」などに分類できる。

市場価値が高いのはハイテク製品の製造に欠かせないためだ。人の正常な生命維持に必要なビタミンに例えて「産業のビタミン」と呼ばれる。

例えば、中国が4月に輸出管理を強めたサマリウムやジスプロシウムは戦闘機や電気自動車(EV)に使う高性能磁石の材料となる。わずかに添加するだけで耐熱性や磁力といった磁石の性能を飛躍的に高められる。

中国がレアアース大国へ歩み始めたのは40年ほど前に遡る。改革開放を主導したかつての最高指導者、鄧小平氏がその戦略性に目を付けた。

この頃レアアースを分離・精製する技術が進歩

し、テレビの蛍光体やレンズ材料といった用途の開発も進んだ。米国を中心に生産が増えていた。

鄧氏が率いた中国は1986年に定めたハイテク振興計画「863計画」にレアアースを含む新素材を開発すると盛り込み、生産を本格化させた。92年の南巡講話では「中東に石油があり、中国にレアアースがある」と言及し、戦略物資との位置づけを鮮明にした。



かつての中国最高指導者、鄧小平氏は「中東に石油があり、中国にレアアースがある」と言及した

レアアースの分類

| 代表例 | 主な用途 |
|---------------|------------------------|
| 軽希土類(世界に分布) | |
| ランタン | 光学レンズや石油精製の触媒 |
| セリウム | 液晶パネルなどの研磨剤 |
| ネオジム | 電気自動車のモーターに使う磁力の強い磁石 |
| ★サマリウム | 弾道ミサイルの誘導システムや戦闘機の磁石 |
| 重希土類(中国に偏在)など | |
| ★スカンジウム | 戦闘機などに使うアルミニウム合金 |
| ★イットリウム | 医療用レーザーや照明用の発光ダイオード |
| ★ガドリニウム | 原子力発電所の原子炉を制御する材料 |
| ★テルビウム | 電気自動車や産業機器に使う高性能磁石の添加剤 |
| ★ジスプロシウム | 電気自動車や産業機器に使う高性能磁石の添加剤 |
| ★ルテチウム | 陽電子放射断層撮影装置(PET)など医療診断 |

(注)★は中国政府が4月に輸出規制に加えた種類

80年代までは米国などが主要な生産地だったが、中国で鉱山開発の企業が乱立し低価格での輸出攻勢をかけた。採算が悪化した米国などの鉱山は閉山に追い込まれ、中国が世界のレアアース生産をほぼ独占する流れが加速する。

低価格を支えた一因に環境コストの低さがあった。

当時は環境規制が緩く、軽希土類は採掘から製錬の過程で放射性廃棄物などが生じるが対策が足りなかった。

重希土類ではレアアース抽出に必要な酸性液の処理が不十分で鉱山周辺の河川や土壌を汚染した。深刻な環境破壊や健康被害という代償を伴いながらレアアース大国の地位を築いた。

政府が排出規制や鉱山の国有化を通じて環境対策に本腰を入れたのは11年になってからだ。



レアアース工場から排出される汚染された水
(2010年、内モンゴル自治区)=ロイター

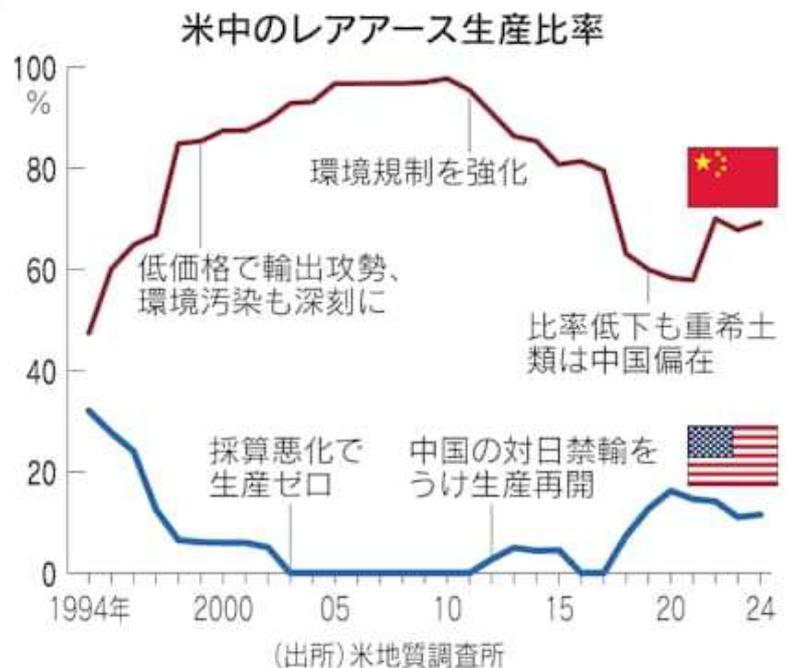
中国はこの頃からレアアースを経済外交のカードとして使い始めた。

10年に沖縄県尖閣諸島を巡って日本と対立した。日本に捕まった中国漁船の船長の解放を求め、日本企業が高いシェアを誇っていた高性能磁石の原料となるレアアースの対日輸出を一時止めた。

危機感を強めた日本や米国は対応に乗り出した。米国は2002年に閉山したカリフォルニア州南部のマウンテンパス鉱山で生産を再開させた。

米地質調査所(USGS)によると、10年に9割以上だったレアアース生産に占める中国の比率は24年に7割まで低下した。とはいえ米豪の生産は軽希土類が中心で、より希少な重希土類の生産は中国が世界市場のほとんどを牛耳ったままだ。

さらに米国などで産出した軽希土類の大半も中国に輸出する必要がある。



中国は10年以上も製錬技術に磨きをかけ、製錬に欠かせない放射性物質の除去などを得意としているためだ。民意が環境問題に敏感な先進国には手を出しにくい分野だ。

中国はレアアースの製錬においても9割超の世界シェアを持つ。

近年ではレアアースを添加した磁石の製造でも中国製の寡占が進んだ。

4月の輸出規制では磁石の海外出荷も絞り込んだ。米フォード・モーターやスズキが工場稼働を一時停止させるなど世界のサプライチェーンを震撼(しんかん)させた。

鄧氏がレアアースを重要産業に位置づけた産業政策をまとめてから40年近くがたった。

中国が握るレアアースの強みは習近平(シー・ジンピン)指導部のもとで、採掘や製錬という産業構造の川上から加工という川下へ広がり、貿易や安全保障で対立する相手国に切る交渉カードを増やした。

(北京=多部田俊輔)

【資料収集】重要鉱物、中国支配の実相 コバルトやリチウム...供給リスクに備えを

日本経済新聞 Deep Insight 本社コメンテーター 松尾博文 2025年7月9日



右は中国内モンゴルのレアアース鉱山。同国はレアアースなど重要鉱物の供給網を支配する

トランプ米大統領が中国にしかけた関税戦争があらわにしたのは、重要鉱物のサプライチェーン(供給網)をめぐる中国支配だった。分断が拡大する今、レアアース(希土類)の次に中国が出す切り札は何かに世界は身構える。

相撲に「けたぐり」という決まり手がある。

立ち合いの際に体を開き、ぶつかろうとする相手の足を払って前に倒す。相手の勢いが激しいほど効果的だ。トランプ氏は中国に勇ましく高関税を課して見せたものの、中国が4月に繰り出したレアアースの輸出規制というけたぐりにあっけなく関税引き下げに追い込まれた。

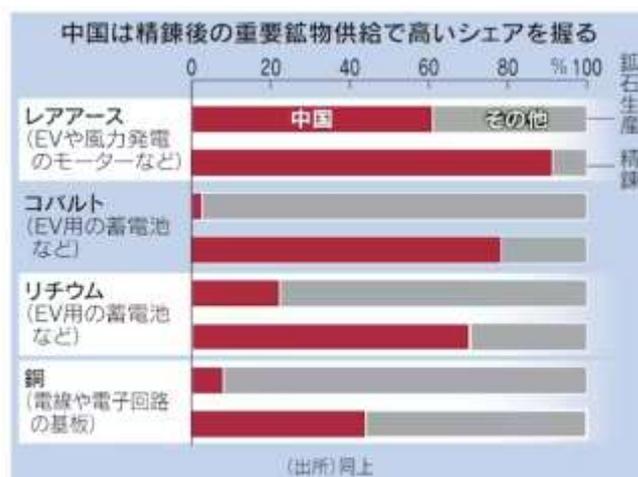
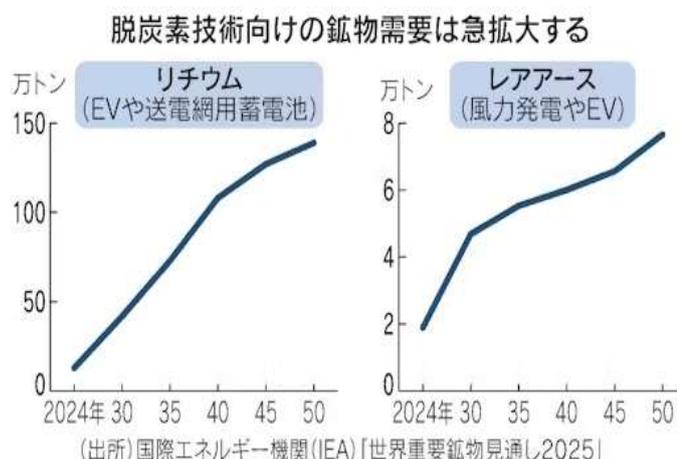
6月に中国の習近平(シー・ジンピン)国家主席と電話会談したトランプ氏は「習氏がレアアースの輸出再開に同意した」と語り、米国にとってこの問題がいかに大きいかを隠さなかった。

レアアースは電気自動車(EV)のモーターに欠かせず、生産の約6割が中国に集中する。輸出規制で米フォード・モーターの工場は一時生産が止まった。スズキも小型車の生産を止めた。

輸出規制が明らかにしたのは中国産レアアースを欠くと世界の自動車産業が立ちゆかない現実だ。

精錬や関連製品でも大きなシェア

レアアースは一例にすぎない。国際エネルギー機関(IEA)が5月に公表した「世界重要鉱物見通し2025」は中国の鉱物支配の衝撃的な数字を明らかにした。



レアアースや黒鉛など中国が主要な産出地である鉱物だけでない。

調査した20鉱物中、19鉱物について中国は精錬でも平均で7割のシェアを握る。

精錬とは鉱石から不純物を取り除き、純度を高めた中間原料に加工する工程だ。

たとえばEV用の蓄電池に欠かせないコバルトは生産の7割弱がコンゴ民主共和国に集中するが、精錬段階のシェアでは中国が約8割を押さえる。

石油や天然ガスと比べて、重要鉱物の市場流通量は小さく、少しの供給量変化が大きな価格変動をもたらす。産出量が多い銅でも精錬では中国が4割超の最大シェアを押さえる。

重要鉱物が脚光を浴びるようになったのは、脱炭素に向けたエネルギー転換に必要となる技術や製品に不可欠だからだ。

人工知能(AI)の進展に伴う電力需要の増大で新たな送電網を整備するには電線の材料となる銅も必要だ。

目を背けることができないのは、鉱物の採掘や精錬にとどまらず、これらを使う技術や製品群まで中国の支配が及びつつあることだ。

中国は太陽光パネルの約8割、風力発電機の約6割、EV用蓄電池は7割超を押さえる。

エネルギー転換が進めば進むほど、中国依存度が高まる仕掛けだ。今回はレアアースだった。

中国はいくつものカードを胸に忍ばせ、必要に応じカードを繰り出せることを認識する必要がある。

「一帯一路」も資源確保を後押し

いつの間にこんなことになったのか。

エネルギー・金属鉱物資源機構(JOGMEC)の竹原美佳氏は「中国は1980年代からレアアースに着目してきた。

当初は採掘に伴って出る放射性廃棄物などの処理をめぐる環境規制が日米欧に比べ緩かったこともあり、コスト競争力で優位に立つ中国企業に他国企業は対抗できず市場から締め出されていった」と語る。

広域経済圏構想「一帯一路」も資源確保を後押しした。

経済協力をからめてコンゴ民主共和国のコバルト鉱山や、インドネシアのニッケル鉱山に次々と投資した。

市場開拓の担い手となる中国企業のアニマルスピリッツも無視できない。

九州大学の堀井伸浩准教授は中国の産業が国際市場で競争力を高める場合、「巨大な国内市場を苗床にそこで勝ち抜いた企業が世界市場に出て行く勝ちパターンがある。クリーンエネルギー分野も例外ではない」と説明する。

そのうえで中国企業間でも盛衰の激しい太陽光パネル市場を例に、「中国の国内市場は温室ではなく苛烈な競争の嵐が吹き荒れる。

国家の産業政策は市場の立ち上げ段階にとどまり、苛烈な競争の下でトップ企業が数年後には消えていく状況でも政府は傍観してきた」と指摘する。

地政学リスクを経営改革のチャンスに

供給網の中国支配の危険性はここ数年指摘されてきた。製造業再興を掲げるトランプ氏の大統領復帰で一気に表面化した。いびつな依存状況は遠からず覆い隠せなくなっていたはずだ。

日本は突然の供給網途絶にどう備えるのか。豊富な埋蔵量が期待される日本近海でのレアアース採掘は有望だ。



再生可能エネルギーの拡大に伴い重要鉱物の需要も増える
(米カリフォルニア州の風力発電所)=ロイター



電気自動車(EV)の拡大にはレアアースなど重要鉱物が欠かせない
(米カリフォルニア州のEV充電設備)=AP

ただし、中国の優位を崩しかねない動きは「海域での中国軍や海警局の活動を活発化させ、安全保障上の緊張を招きかねない」(日本政府関係者)。

重要なのは対抗するカードを1枚でも多く持つことだ。

供給網の多重化や調達先の多様化、重要鉱物を使わない技術やリサイクル技術の開発などを全方位で進め、いざという場合にいつでも切る体制を整える必要がある。

企業にとって地政学リスクや経済安保への対処は今や重要な経営課題だ。オウルズコンサルティンググループの羽生田慶介最高経営責任者(CEO)は「供給網の安全確保は平時から一定のコストがかかることを覚悟する必要がある。供給網のコスト増分を製品ラインアップの見直しなど事業全体でコストを下げる経営改革の好機にすべきだ」と指摘する。

日米の関税交渉は着地点がみえない。日本は米中のはざままで窮地に陥る供給網リスクを経済安保の強化につなげることができるのか。貿易立国の覚悟が問われる。

南鳥島に眠るレアアース、世界3位の量

中国輸出規制の資源も豊富レアアースと覇権⑤

レアアースと覇権 2025年6月20日

電気自動車(EV)などに欠かせないレアアース(希土類)の確保は国内産業の懸案だ。

生産の7割を握る中国が米国との対抗で輸出を規制し、国内メーカーの生産停止にまで波及した。日本の海底資源「レアアース泥」は規制対象である「中・重希土類」も豊富に含む。資源の安全保障を確保する観点からも、開発の重要度が高まる。

日本の海域には有望なレアアース資源が眠る。

東京大学の加藤泰浩教授らの研究チームは2013年、日本最東端にある南鳥島(東京都)周辺の海底から、レアアースを高濃度で含む「レアアース泥」を発見した。南鳥島の有望海域(2500平方キロメートル)のみでもレアアースの埋蔵量は1600万トン超と世界3位の規模があるとみられる。

25年に入って日本政府はレアアース泥の開発に注力する方針を打ち出した。

4月には深海6000メートルからレアアース泥を引き揚げる「揚泥管」の接続試験を開始すると表明した。政府は28年度以降を目標にレアアースの生産体制を整える。

特筆すべきは中国の輸出規制で希少性が強く意識される中・重希土類を多く含む点だ。

レアアースは軽希土類と中・重希土類に大別され、中・重希土類は中国産が大半だ。

中国政府が4月に発表した輸出規制の対象であるジスプロシウムなど7種類は中・重希土類にあたる。

東大の加藤教授によれば、レアアース泥の含有量の5割程度が中・重希土類だという。

商業化に向けては採算性が課題となる。

21年に東京大学レアアース泥・マンガノジュール開発推進コンソーシアムで試算した経済性評価によると、1日あたり3500トンのレアアース泥を引き揚げることができれば「過去20年ほどのいずれの価格帯でも採算が取れる」(東大の加藤教授)という。



日本の海域には世界有数のレアアース資源が眠る。
左は南鳥島、右はレアアース泥

レアアース泥の開発に向けて進行中の内閣府の戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)では、27年1月以降に1日あたりで350トンに相当する揚泥を目指している。

今後は揚泥量を伸ばせるかが焦点だ。泥などを引き揚げたあとも、陸から離れた海域から運ぶ費用がかかる。実際にレアアースとして使うには、純度を上げる精錬技術も必要だ。だが地上でとれる資源と違い、海底の泥から精錬する技術は未完成。産業に応用するまでの技術的な課題は多い。環境負荷への配慮として、生態系に対する影響の調査といった取り組みも求められる。

米中対立の激化で、レアアースの調達は不透明感が高まる。

専門商社プラネット(東京・港)の川崎豊代表取締役は「レアアースまで中国の輸出規制の対象に加わって困惑した」と語る。

欧米の自動車・部品メーカーの一部操業停止にも波及し、スズキは小型車「スイフト」の生産停止という事態に陥った。

中・重希土類は取引価格も急上昇した。

英調査会社のアーガス・メディアによれば中国外の価格指標となる欧州価格で、ジスプロシウムとテルビウムは5月月初時点の価格が1カ月前から約3倍に急騰。データが遡れる2015年5月以降での最高値となった。6月上旬時点でも最高値圏での推移が続く。

国産レアアースを採掘・精錬するハードルはなお高い。

ただ希少鉱物の覇権を外国に握られたままでは国内のハイテク産業の成長はおぼつかない。

省資源化や再利用を含め不断の技術革新が欠かせない。

| 中国が輸出規制した中・重希土類 | |
|-----------------|--------------|
| 元素 | 主な用途 |
| サマリウム | モーター用磁石 |
| ガドリニウム | MRIの造影剤 |
| テルビウム | モーター用磁石 |
| ジスプロシウム | モーター用磁石 |
| ルテチウム | がん画像診断用の検査装置 |
| スカンジウム | 燃料電池 |
| イットリウム | 発光ダイオード |

(山田周吾、矢野撰士)

今回 internet から収集資料の 収集時期・収集時間経過がバラバラになっています。

TVや新聞記事見ても、レアアースの経済的価値・実用のための「鉱物採掘・選鉱→分離精錬→搬送→精錬と→合金化等々の実用プロセス技術の中身」と各工程で引き起こす環境課題の解消などいわゆるサプライチェーン構成と経済性・プロセス技術の完成度がよくわからず、また、各国の政治・経済・環境課題が複雑に絡み合っ、中身の進行評判断がむづかしい。調べた記事の妥当性についても刻々変化し、人それぞれ現在進行形と。

2024年10月の独立法人 エネルギー・金属鉱物資源機構 2024 ブリーフィングのまとめを記載し、

これら資料収集のまとめとさせていただきます。From Kobe Mutsu Nakanishi

まとめ

- ◆ REEショック後、レアアース鉱石供給源の多様化が進み中国の寡占度は低下傾向であったが、2022年以降、中国の増産傾向が強くなっており、7割程度の寡占度で推移している。
- ◆ 軽希土類は世界のサプライチェーン全体で脱中国依存が進む一方、中重希土類の生産（採掘・分離精製～金属化）はいまだ、イオン吸着鉱の主な生産地である中国、ミャンマーへの依存度が大きい。
- ◆ 2024年1月、2大レアアース企業への生産集約が明確となり、同生産企業による市況への影響力増大が危惧される。
- ◆ 中国におけるイオン吸着鉱の採掘計画は近年増減が無く、今後の大幅な生産増は期待できない。
- ◆ 中国は世界最大のレアアース供給国であると同時に、世界最大のレアアース消費国でもあり、米国・ミャンマー等より多くの原料を輸入しているため、供給元の動向にも注意が必要。
- ◆ 磁石向けレアアースサプライチェーンの多角化に向けて、多くの鉱山開発、分離精製プロジェクトが動き出しているが、市況の下落等により、新規プロジェクトの進展に影響が出始めている。
- ◆ 埋蔵量世界第2位とされているベトナムのレアアース鉱山開発権を巡り、韓・米・豪の政府・企業の活発な動きがみられたが、関係者の逮捕事件を受け、入札非開催という不透明な状況のまま、最終的に韓国企業が開発権を取得する結果となった。
- ◆ 中国外における使用済み磁石リサイクルPJは試験生産が始まっているものもあるが、各PJの年間磁石処理計画量は最大で、ネオジム磁石世界生産量の約3%程度に留まっている。

独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構



◆資料添付 OGMEC 令和6年度金属資源セミナー・クリティカルミネラル需給動向 独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構

レアアースの供給と課題

https://mric.jogmec.go.jp/wp-content/uploads/2024/06/mrseminar2024_01_02.pdf

◆添付資料「レアアースの供給と課題」

2024.10月

OGMEC 令和6年度 金属資源セミナー・クリティカルミネラル需給動向 ブリーフィング
独立財団法人 エネルギー・金属鉱物資源機構

https://mric.jogmec.go.jp/wp-content/uploads/2024/06/mrseminar2024_01_02.pdf



令和6年度金属資源セミナー・クリティカルミネラル需給動向ブリーフィング

独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構
金属企画部調査課 千葉樹
2024.06.27
(お問合せ先：mric@jogmec.go.jp)

目次

1. レアアースとは、日本のサプライチェーン
2. 世界の希土類鉱石生産量と中国の占有率
3. 世界の軽希土類サプライチェーン
4. 中重希土類の供給について
5. 中国：レアアース採掘総量規制指標
6. 中国：レアアース国内産業の管理（レアアース生産企業の統合）
7. 中国：レアアース輸入
8. 中国外の鉱山開発および分離精製主要プロジェクト（新規・拡張）
9. ベトナムにおけるREE資源開発の動向
10. 中国外における使用済み磁石リサイクル主要プロジェクト（新規・拡張）
11. 磁石向けレアアース価格動向



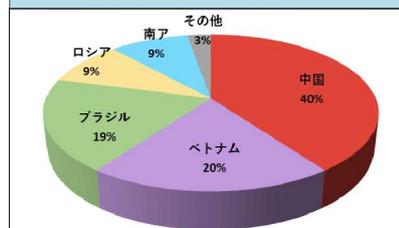
独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構

1

レアアース（Rare Earths Elements: REE）とは

- **レアアースは、レアメタルの一種で17種類の元素（希土類）の総称**であり、多くの優れた物理的・化学的特性を持つことから、先端技術を用いた製品には不可欠な素材。
- 特に、**強力な永久磁石**に必須な元素であり、EV自動車のモーターや風力発電用の永久磁石に使われる。
- 化学的性質が類似しているため、自然界ではほぼ一体となって産出し、元素単体の鉱床は存在しない。
- 鉱床の種類によって17元素の構成比が大きく異なっている。

レアアースの2023年世界埋蔵量
(合計:約110百万REOt)



(USGS Mineral Commodity Summaries 2024よりJOGMEC作成)

周期表上のレアアース



代表的なREE鉱物
モナザイト、
バストネサイトの
TREO※に占める
各元素の割合

軽希土類

約70~80%

天然に存在せず

約20%前後

中重希土類

約0.05~10%

約0.3~16%

※TREO: Total Rare Earth Oxide
(全レアアース酸化物換算量)

独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構

2

磁石関連レアアースにおける日本のサプライチェーン

- 日本は現在、磁石向けレアアース原料の多くを希土金属・鉄合金の形で輸入に頼っている。
- 要因として、鉱石中に含まれる放射性元素の存在、有害な廃液・排ガス等の処理コストの問題等が挙げられる。

図.日本におけるレアアース 採掘から磁石 製造までのサプライチェーン



※分離・精製工程にて分離される放射性元素の処理・管理が必要
 ※電解にてフッ化水素が発生し、環境規制の厳しい国ではコストが掛かる

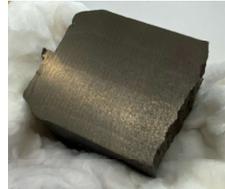


(写真1)レアアース鉱石 (Mt. Weld産)

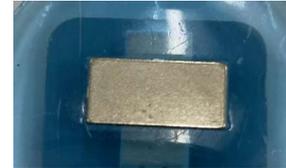
独立行政法人 エネルギー・金属鉱物資源機構



(写真2)酸化ジスプロシウム



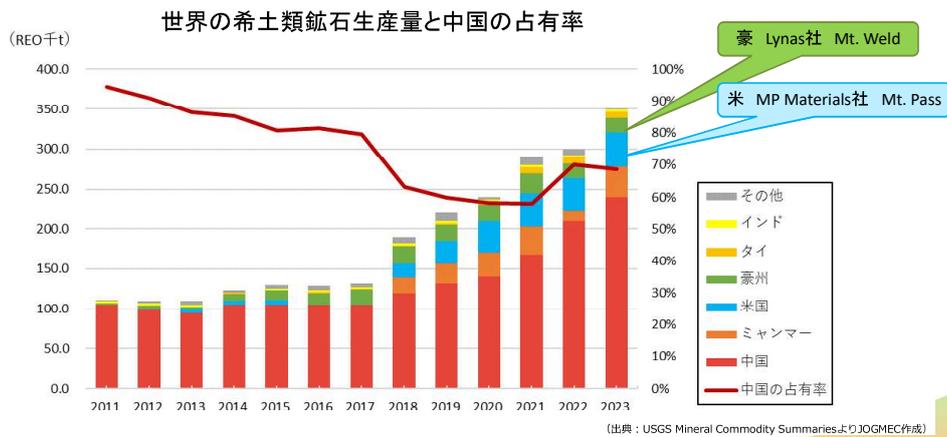
(写真3)ジスプロシウム鉄合金



(写真4)NdFeB磁石

世界の希土類鉱石生産量と中国の占有率 (2011~2023年)

- ▶ 2023年の希土類鉱石の世界生産量は、前年比17%増で350REO千tとなり、2013年以降増加し続けている。
- ▶ 2011年に95%であった中国の占有率は、2021年には約60%まで低下したものの、近年、中国増産の勢いが大きく、**2022年に70%まで上昇、2023年は前年比1%減の69%で推移。**
- ▶ 2023年の各国生産量の前年比増加率は多い順で、ミャンマー：217%増 (COVID-19影響からの回復)、中国：14%増、米国：2%増。他国はほぼ前年並み (ベトナムのみ前年比50%減) となっている。



独立行政法人:

世界の磁石向け軽希土類のサプライチェーンの現状

- 鉱山からの鉱石生産の偏在性は解消されつつあるが、分離・精製～磁石製造工程に占める中国のシェアは依然として大きい。
- 現在、特に分離・精製以降の工程を多角化する動きが、各国で進んでいる。

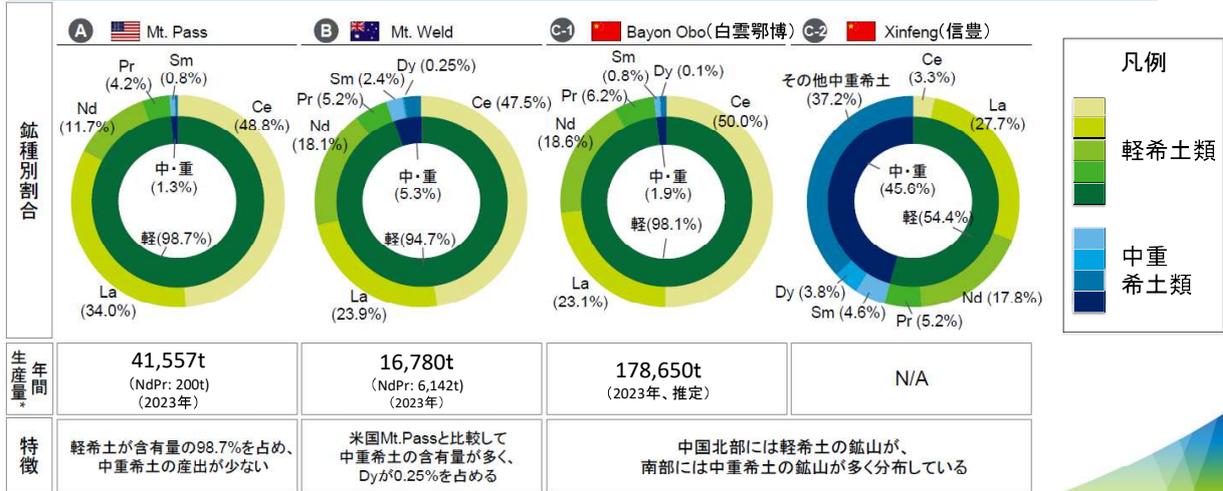


(注: 採掘・選鉱フローは希土類鉱石の生産シェアを準用。出典: 各種資料を基にJOGMEC作成)

独立行政法人 エネルギー・金属鉱物資源機構

中重希土類の供給について

- 主要なレアアース鉱山（カーボナタイト等のマグマ由来型）には軽希土類が9割以上を占め、中重希土類は1~5%程度しか含まれていない。
- 中国南部のイオン吸着型鉱床の中には、中重希土類が約5割と非常に富む鉱床が存在する。



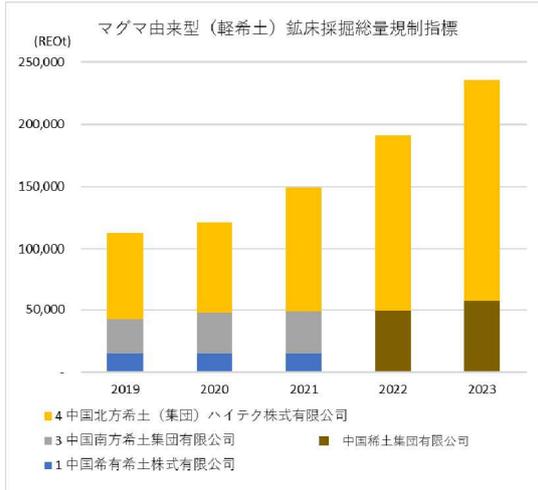
*:レアアース酸化物換算の重量を表す

(R2FY 北米におけるレアアースのサプライチェーン状況分析業務を基に、各社公開情報により編集)

6

中国：レアアース採掘総量規制指標（2019~2023年）

- 2023年、マグマ由来型（軽希土主体）+イオン吸着型（重希土に富む）の採掘割当量の合計は255千tで、前年比21%増。
- マグマ由来型鉱床は前年比23.6%増の235,850tとなる一方、イオン吸着型鉱床は19,150tで、2019年からの増減なし。
- 2023年、史上初の第3期指標（増枠）が発表された。需要増に対応するためという見解がある一方、REE価格は磁石需要が振るわず下落基調であるため、本当に実需増が理由か、戦略的なものであるかは定かでない。



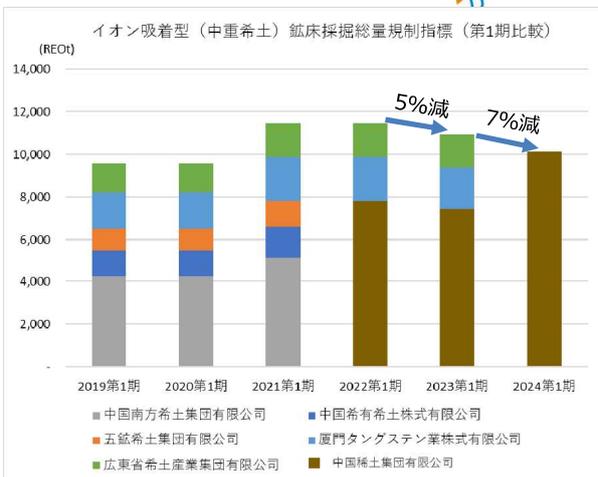
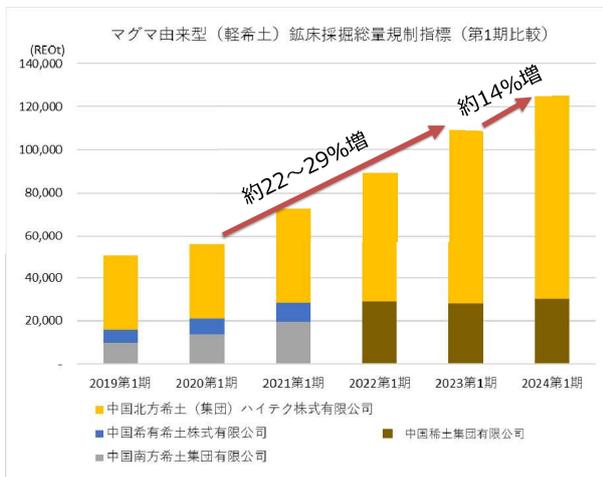
独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構



(出典：中国政府発表よりJOGMEC作成)

7

中国：レアアース採掘総量規制指標 2024年第1期発表（2024年2月）



(出典：中国政府発表よりJOGMEC作成)

- マグマ由来型鉱床での採掘は、直近数年では前年同期比平均約25%増であったが、2024年は同比14%増となり、やや増加率が緩やかに。
- 一方、中重希土類に富むイオン吸着型鉱床では、2023年第1期以降減少傾向。昨年よりも減少幅が大きくなり、前年同期比7%減。

⇒実際の中重希土類生産量は、北方希土によるマグマ由来型鉱床の増産分からの補填で微増とみられる。

8

中国：レアアース国内産業の管理

—中国レアアース企業の再編、二大レアアース生産企業に



- ▶ 2021年12月CHINALCO、中国五鉱集団、南方希土の合併が発表され、合併後の新社名は「中国希土集团有限公司（中国希土）」。
- ▶ 2022年10月31日、広東省広晟控股集团有限公司（広晟集団）は中国希土と戦略的協力を締結、2023年12月29日には子会社である広東省希土産業集団（広東希土）の全株式を中国希土へ無償で譲渡する協定を締結、広東希土は中国希土の完全子会社となったため、中国レアアース大手企業は4社から3社へ再編。
- ▶ 2023年9月24日、中国希土は厦門タングステンとの「構造協議協力」に調印、両社出資のJV企業を発足することで、共同で厦門タングステンが管理していた希土鉱山と希土製錬分離プラント産業を運営⇒12月下旬、中国希土の出資比率51%に⇒支配権は中国希土へ
- ▶ 2024年1月発表の採掘規制指標第1期にて、中国北方希土と中国希土の2社の割当のみ発表。

- 2024年2月時点の状況
- 2024年第1期採掘規制指標の発表 ⇒ 二大レアアース生産企業の誕生が明確に
 - イオン吸着鉱の生産はすべて中国希土集団の管理下へ
 - マグマ由来型の生産は7割が北方希土集団、3割が中国希土集団の管理下へ



独立行政法人 エネルギー・金属鉱物資源機構

出典：業界関係者と現地報道によってJOGMEC作成

中国：レアアース輸入



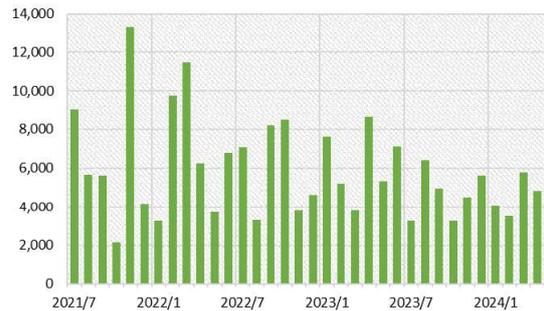
- 中国は世界最大のレアアース供給国であると同時に、世界最大のレアアース消費国
- 2023年は約25.5万REOt/yrの国内生産鉱石に加え、米国からの約6.6万tの鉱石、ミャンマーからの約7.2万tの酸化物等原料、マレーシア・ベトナム等からの原料輸入により自国消費 + 輸出需要を満たしている。

ミャンマーからの中国REE原料
・ 中間製品輸入 (t)



- ▶ 2023年夏～秋頃にミャンマーで、一時的な「税関閉鎖」や「採掘停止」、「採掘副資材の輸入禁止」情報あり⇒重希土類の価格上昇に寄与するも、輸出に大きな影響なし ⇒ 2024年明け以降、Tb、Dy等が大幅に価格下落。ミャンマーからの安定した原料供給が中国国内消費を上回っている可能性あり。
- ▶ 雨季に入り、6月にカチン州パワン鉱山で2度の地滑り事故が発生、合わせて35人以上の死者が出ている模様。⇒ 鉱山管理のずさんさと雨季の生産減予想が浮き彫りに。

米国からの中国REE鉱石輸入 (t)



- ▶ 米国からの2023年の輸入は66,248t、前年比13.7%減と、ここ数年で初の減少傾向。
- ▶ 直近2024年1月～4月の輸入は、前年同期比約28%減。 ⇒ MP Materials社が8月頭より米国CA州Mt. Pass山元での希土抽出、希土酸化物分離を開始しており、中国輸出向けが減少。

中国外の新規鉱山開発 主要プロジェクト
精測 + 概測鉱物資源量 品位データ比較



| 所在地 | 名称 | 資源量(万t) (精測+概測) | 全REE酸化物 (TREO) (%) | Nd ₂ O ₃ (ppm) | Dy ₂ O ₃ (ppm) |
|------|----------------------------|--------------------|-----------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|
| 米国 | Elk Creek -PJ | 189 | 0.34 | 524 | 48 |
| | Bokan-Dotson Ridge REE -PJ | 478 | 0.60 | - | 253 |
| | (参考) Mountain Pass | 130 | 2.83 | 3,400 | - |
| カナダ | Nechalacho Rare Earth -PJ | 1,090 | 1.51 | 2,927 | - |
| | Wicheeda -PJ | 3,417 | 2.02 | 2,300 | 32 |
| 豪州 | Browns Range-PJ | 504 | 0.78 | - | 670 |
| | Nolans -PJ | 3,490 | 2.77 | 7,313(Nd+Pr) | - |
| | (参考) Mt.Weld | 2,930 | 6.92 | 12,525(推計) | 173(推計) |
| ナミビア | Rofdal -PJ | 4,476 | 0.17 | 137 (Area 4) | 90 (Area 4) |

※表中のプロジェクトのうち、商業生産稼働中はMountain Pass とMt.Weldのみ。
※Dy₂O₃含有量の記載が無いプロジェクト:Dyが生産される可能性はほぼ無し

- : 公表情報において数値無し
赤字: Mt.WeldまたはMountain Pass と比べて高品位
青字: 稼働中の鉱山の数値

ベトナムのレアアース鉱山、鉱床



- 主にベトナム西北部のラオカイ省からイエンバイ省地域に分布。
- 軽希土類主体のNam Xe、Dong Pao (Lau Chau省)、重希土に富むBen Den (Lao Cai省)、Yen Phu (Yen Bai省) が知られている。
- USGS2024によれば、2023年推定生産量600tREO、埋蔵量2200万t

- [主要鉱床]
- LREE鉱山: Dong Pao (ドンパオ)
 - ・ 主産物はバストネサイト
 - ・ 埋蔵量: 5百万t以上 (REO)
 - LREE鉱床: Nam Xe (ナムヘ)
 - ・ 主産物はモナザイト
 - ・ 鉱床規模: 1.5百万t (REO)
 - HREE鉱山: Yen Phu (イエンフー)
 - ・ 主産物はゼノタイム
 - ・ 埋蔵量: 約3千t (REO)
 - ・ 生産能力はHREE酸化物で2千t/年を予定
 - HREE鉱床: Ben Den (ベンデン)
 - ・ 鉱床タイプはイオン吸着粘土
 - ・ 埋蔵量: 約15千t (REO)

<ご参考: ベトナムにおけるこれまでの日本の動き>

- ✓ 2007年、JOGMECとベトナム天然資源環境省地質鉱物資源局 (Department of Geology and Minerals of Vietnam) 間でレアアース等に関する共同地質調査のMOUを締結し、共同資源開発基礎調査を開始。
- ✓ 2010年10月、日越両国は首脳会談において、レアアースの開発協力で合意。
- ✓ 2011年10月の首脳会談では、ドンパオ鉱山の共同開発で合意。
- ✓ 2012年5月、双日と豊田通商が折半出資する「日本ドンパオ・レアアース開発」は、ベトナム石炭・鉱物工業グループ (Vinacomin) 傘下の鉱山開発会社「Lavreco」と、北部ライチャウ省ドンパオ鉱山の開発に関する覚書を締結。第1段階でドンパオ鉱山の調査を進め、第2段階では、Lavrecoと合弁会社を設立予定。
- ✓ 2013年、レアアースショック後の大幅な価格下落により、ドンパオ鉱山開発プロジェクトは見直しを余技なくされ、事業化を断念。「精製コストが高く、採算が見込めなかった」(日経: 2024年4月6日付関係者コメント)

ベトナムにおけるレアアース鉱床開発権をめぐる韓国・豪州・米国の動き

- ドンパオ鉱山については、Lavrecoが2014年に天然資源環境省から採掘開始の許可を取得 ⇒ 市場価格、加工技術、資金手配の面で困難を極め、未操業。
- イエンバイ省Yen Phu (イエンフー) レアアース鉱山についても2014年に開発が認可。 ⇒ 埋蔵量が少なく、現在のところ、未開発。

韓国政府

2023年6月、韓国とベトナムは首脳会談において、総額40億ドル (約5600億円) の開発援助を行うことについて合意。レアアース分野でも協力すると発表。重要鉱物のサプライチェーン (供給網) 協力を図るため、「核心鉱物供給網センター」の共同設立も決定。

米国政府

2023年9月、米国・ベトナム包括的戦略パートナーシップを発表。レアアース分野での協力強化に関する覚書を締結。鉱区入札の開催にも協力を申し出。

企業

- 2023年7月、米Blackstone Minerals、越VTRE および豪 Australian Strategic Materials (ASM) は、ベトナムでのレアアース鉱山から金属までの統合バリューチェーンの開発に関する3者間覚書を締結。BlackstoneとVTREは、既存の鉱区を評価し、ドンパオ鉱床を中心に、JV方式で採掘ライセンスの取得を目指すとして発表。Blackstoneは、VinFastやRivianなどの電気自動車メーカーと供給契約の可能性について議論中としていた。
- 2023年9月、Blackstone Minerals幹部は、「ベトナム政府は、年末までにドンパオ鉱山の複数の鉱区の入札を開始する予定で、同社は少なくとも1つの利権を獲得するために入札する予定」と述べた。

- ◆ レアアース鉱石の違法採掘・開発・販売によるVTRE会長ら逮捕 (2023年10月20日)
 - 同件は現在も捜査が続いており、2023年内開催見込みと報道されていた入札は、2024年4月時点で未実施。
 - VTREの会長逮捕により、VTREが発表していたREE開発計画に動きは確認できず。 ⇒ 不透明な状況。
- ◆ ベトナム政府: 一部の鉱床を備蓄地域に指定 (2023年11月)
 - 2023年11月、ベトナムのチャン・ホン・ハー副首相は1日、「国家鉱物備蓄地域」を承認した首相決定1277号 (1277/QĐ-TTg) に署名。レアアース (希土類) については、北部ラオカイ省のバオイエン郡とバンバン郡および同イエンバイ省バンイエン郡が備蓄地域に。「イエンバイ省バンイエン郡」: Yen Phu (イエンフー) 鉱床が含まれる。

- ◆ 「韓国トライデント、レアアース鉱山を取得」 (2024年5月24日)
 - 鉱山開発や不動産事業を手がける韓国複合企業トライデント・グローバル・ホールディングスは24日、ベトナム北部ラオカイ省とライチャウ省にある計3カ所の鉱山のレアアース (希土類) 開発権を取得したと発表した。一部権益を保有する地場ファンハイ・グループとともに年内に採掘や加工を始める。
 - トライデントとファンハイは、ラオカイ省のバナムセーとナムナムセーおよびライチャウ省ドンパオの鉱山3カ所を共同開発する。ファンハイが採掘し、トライデントはレアアース鉱物の加工を手がける。

中国外での分離精製 主要プロジェクト (新規・拡張)

● 軽希土類 + 重希土類の単離、酸化物生産

| 所在国 | 企業名 | NdPr酸化物生産能力 (t/yr) | (拡張) 生産開始予定 | Dy, Tb酸化物生産能力 (t/yr) |
|-------|-----------------------------------|----------------------------------|--------------|------------------------|
| 米 | MP Materials | 6,000 | 2023年8月生産開始! | 技術設計中 (未定) |
| 米 | Energy Fuels | 800~1,000 (Phase2:1500-3000) | 2024年6月生産開始! | 技術設計中 (Phase3:2027年予定) |
| 加 | SRC | (1,460) | 2024年 | Dy:20, Tb:5 |
| 加 | Kingston Process Metallurgy (KPM) | 400? → 1,000? (REO2,000 → 5,000) | 2024年 | Dy, Tb: 限定的 |
| 豪・米・馬 | Lynas | 7,000→12,000 | 2025~2026年 | Dy, Tb生産○ |
| 豪 | Iluka Resources | 5,500 | 2025年 | Dy, Tb生産○ |
| 仏 | Solvay | 4,000 | 2025年 | Dy+Tb: 500 |

(出典: カンパレンス資料、ニュースフラッシュ、各社プレスリリース等を元にJOGMEC作成)

● 軽希土類のみの単離、酸化物生産

| 所在国 | 企業名 | NdPr酸化物生産能力 (t/yr) | (拡張) 生産開始予定 |
|-----|---------------------|--------------------|-------------|
| 豪 | Arafura Rare Earths | 4,440 | 2025年 |

Dy (ジスプロシウム), Tb (テルビウム) 生産の65% : 日本向け供給確保

豪 Vital metals社 (2023年4月19日) 加SC州に建設途中であった希土類抽出 (炭酸塩製造) プラントの建設一時中止を発表。建設は約50%完了しているものの、運用コスト高のため希土類鉱石の処理が実行不可能であり、代替の資金源を探すためにすべての建設を一時停止した。

- ▶ 欧州・北米拠点を中心に、使用済み磁石からのレアアース酸化物、リサイクル磁石の商業生産プロジェクト（以下、PJ）が発表されており、うち3件のPJは試験生産中または実証プラント生産中である（商業生産開始のPJは未だ確認されていない）。
- ▶ 磁石処理量は600～6000tと各PJによって幅があり、世界ネオジム磁石生産量（約20万t/yr）に対し、各PJ約3%程度に留まっている。
- ▶ 試験生産中または実証プラント生産中のPJは、販売予定先が決まっているケースが多い。

| 国 | プロジェクト・施設名称 | 企業名 | 磁石処理計画量(t/yr) | 生産予定(品目・量) | 進捗状況・予定 | 販売予定先、支援プログラム等 |
|------|--|--|------------------------------|--|---|--|
| 英国 | 北アイルランド Belfast実証プラント | 豪Ionic technologies | 600 | NdPr、Dy酸化物 —t | 実証プラント生産中 | 英Less Common Metals、 英Ford(初期生産品納品済み) |
| | SCREAMプロジェクト @Tysley Energy Park, Birmingham | 加MKango Rare Earths UK社、英HyProMag社、他7者 | 20～1000 | リサイクル磁石 (Short-loopリサイクル) —t | 計画中 (2024年第3四半期建設開始、2026年生産開始) | 鉱物安全保障パートナーシップ (MSP)の主要プロジェクト |
| フランス | 南西部Lacq-Orthez | 仏Caremag | 2000 (+精鉱5000t) | 酸化Nd、酸化Pr、酸化Dy、酸化Tb 計1090t | 計画中 (2025年フル稼働予定) | — (仏Solvayと戦略的パートナーシップを形成するための覚書(MOU)を締結済) |
| カナダ | Kingston Pilot Facility | 加Cyclic Materials | — (風タービン・MRI等のリサイクル原料 8000t) | 混合希土類酸化物 —t | 試験生産中 (2024年第2四半期:商業実証プラント立ち上げ) | 仏Solvay |
| 米国 | Noblesvilleパイロット施設、Marion先進技術センター | 米ReElement Technologies | 6000 | 酸化Nd、酸化Pr、酸化Dy、Nd/Pr混合酸化物 計750～900t | 2022年7月～Noblesvilleパイロット施設生産稼働中 (Marion先進技術センター建設中) | 米USA Rare Earths@オクラホマ州ステイルウォーター磁石製造施設 (2025年販売開始～2028年まで) |

独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構

- : 公表情報において数値無し

磁石向けレアアース価格動向（2019～2024年6月中旬）



独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構

(出典：BloombergよりJOGMEC作成)

- ◆ 2019～2022年前期：米中対立深刻化による中国の希土類輸出規制実施の懸念の高まり、及び新エネルギー自動車産業の旺盛な需要に支えられ、価格上昇傾向。
 <Dy金属>
 2021年後期～2022年前期：コロナ禍でのミャンマーからの原料輸入制限等が影響し、中重希土類を中心に価格高騰。
- ◆ 2022年後期～2024年始：
 <Nd金属> 磁石需要の失速および原料供給の安定から価格停滞。
 <Dy金属> ミャンマーでの一時的な税関閉鎖、鉱山採掘停止、採掘副資材の輸入制限等の影響が懸念され一時高騰したものの、2024年年始以降、供給安定に伴い一転、下落基調。
- ◆ 今後：市況下落に伴い、中国外の新規プロジェクトの立ち上げ・進捗に影響あり
 ⇒要注視

まとめ

- ◆ REEショック後、レアアース鉱石供給源の多様化が進捗し中国の寡占度は低下傾向であったが、2022年以降、中国の増産傾向が強くなっており、7割程度の寡占度で推移している。
- ◆ 軽希土類は世界のサプライチェーン全体で脱中国依存が進む一方、中重希土類の生産（採掘・分離精製～金属化）はいまだ、イオン吸着鉱の主な生産地である中国、ミャンマーへの依存度が大きい。
- ◆ 2024年1月、2大レアアース企業への生産集約が明確となり、同生産企業による市況への影響力増大が危惧される。
- ◆ 中国におけるイオン吸着鉱の採掘計画は近年増減が無く、今後の大幅な生産増は期待できない。
- ◆ 中国は世界最大のレアアース供給国であると同時に、世界最大のレアアース消費国でもあり、米国・ミャンマー等より多くの原料を輸入しているため、供給元の動向にも注意が必要。
- ◆ 磁石向けレアアースサプライチェーンの多角化に向けて、多くの鉱山開発、分離精製プロジェクトが動き出しているが、市況の下落等により、新規プロジェクトの進展に影響が出始めている。
- ◆ 埋蔵量世界第2位とされているベトナムのレアアース鉱山開発権を巡り、韓・米・豪の政府・企業の活発な動きがみられたが、関係者の逮捕事件を受け、入札非開催という不透明な状況のまま、最終的に韓国企業が開発権を取得する結果となった。
- ◆ 中国外における使用済み磁石リサイクルPJは試験生産が始まっているものもあるが、各PJの年間磁石処理計画量は最大で、ネオジム磁石世界生産量の約3%程度に留まっている。

独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構

どうなるコメ価格 政策転換の壁は高値を守りたい「JA と族議員」？ 毎日新聞 2025/9/13

<https://mainichi.jp/articles/20250912/k00/00m/040/088000c>

コメの生産量が足りなかった ——。

政府は8月、今の米価高騰は事実上の減反が原因だとようやく認め、増産に

切り替えるとした。世界的にも異常な減反は日本の何をゆがめたのか。

農業協同組合(JA)の問題性や、石破政権退陣後の政策転換の行方は。

農業に詳しい大泉一貫・宮城大名誉教授に聞いた。

新米は 4500 円程度か

——今年の新米の出来はどうか。

猛暑や水害の影響で厳しいかもしれないと盛んに言われていますが、

実際に北海道や新潟県、福島県など大きな産地に聞くと、

まあまあ順調そうです。出来高は10月末～11月ごろにははっきりしますが、例年並みに落ち着く可能性があります。

——注目される価格の見通しは？

各地のJAが農家に前払いする「概算金」が前年の約1.7倍に上っています。

猛暑などでコメの需給が逼迫(ひっぱく)しかねないという臆測が飛び交い、当初は60キロ2万3000～2万5000円としていた概算金を、一気に2万8000～3万円に引き上げる動きが広がったためです。

今のところ、新米価格の中央値は5キロ4500円程度だと私は見えています。

10月末～11月に平年並みの供給量だと分かれば、これを少し下回るのではないのでしょうか。

——依然として高いですね。この高水準が1年間、続くのですか。コシヒカリなどの銘柄米はそうです。

一方、5キロ2000円程度の随意契約の備蓄米は今、月3万～4万トンが少量ずつ供給されています。

備蓄米はまだ約20万トン残っており、今後5カ月程度は低価格米を求める人のニーズに応えられるでしょう。

ただ飲食店やスーパーなどで需要が多いのは3000円台のコメです。2024年産の銘柄米は古米となり値下がりするので、9～10月は3000円台も供給できますが、すぐ底をつきます。

3000円台のコメがなくなったら何が起きるか。

その需要に応じるため、10月ぐらいから米国産など輸入米がどっと入ってくると推測しています。

農家を大規模化するのが嫌だった

——減反政策を続けた結果、輸入が増えるとは納得できません。減反は元々、問題が多い政策ですね。

減反、つまりコメの生産調整をしてきたのは「米価維持」のためです。コメが余って米価が下がらないようにするものです。しかし、日本は人口減少などで国内需要が減っており、「需要に見合った生産」を続けられれば、いずれ稲作が衰退するのは目に見えています。

——減反は世界的に見ても異常な政策とされますが。

多くの国の農業は、価格維持どころか、生産コストを抑えて農産物の価格を引き下げ、世界市場で売ろうというのが基本路線です。小麦も大豆もみな同じです。例えば、欧州各国は1993年に「関税貿易一般協定(GATT)ウルグアイ・ラウンド」が開かれる以前は、農産物の輸出に補助金を出して輸出増に努めてきました。

日本も同じ戦略をとればよかったのに、「日本の農地は狭いから、他国にかなわない」とし、そうしませんでした。しかし米国や豪州ならまだしも、農地が狭いのは欧州各国も同じです。

——デンマークの畜産やオランダの花など、農地が狭くても農業を輸出産業にしている国は少なくありませんね。

ウルグアイ・ラウンドで輸出補助金の廃止が決まって以降、欧州が力を入れたのは構造改革です。

大規模農家を増やし、低コストで生産できるよう政策を進め、輸出増を推進しました。

その結果、00年代から欧州の農産物輸出は飛躍的に伸びたのです。

——日本のコメがそうできなかった根本理由は何ですか。

一言で言えば、農家を大規模化するのが嫌だったのでしょう。

以下有料記事で読まれず・・・



価格の高騰が続いたコメ = 東京都江東区で5月23日、滝川大貴撮影

何かと話題になった今年の米価 生産者と消費者 そして流通と倉庫 利権が絡み合う中で、政治が介入

さてさて、本当のところは見えないなあ ブラックボックスにされてきた利権 今年はみんなが政治を直視している

Mutsu Nakanishi



神戸新聞NEXT 2025/8/21 05:00 より転記

見慣れ、聞きなれた言葉で語られてきた、マスコミ・TVの論調。

SNSで語られる論調は良く知らないが、今の日本 何が信用できるのかよくわからぬ時代。

置いてきぼりにはなりたくはないが、そのまま何かについていく気もない。

書き物として 1個人の声がきけるコラムやオピニオン欄にもしっかり目を向けねば……

また、外国では日本をどう見ているのか… 「個人の生の声」が知りたくて、こんな記事が目にとまり読みました。真偽や主義主張はそれぞれ。でも 自分にも対峙してみればいいかなあ……と。

From Kobe Mutsu Nakanishi

<現論> 驚きの参院選結果、「ウラの言論」が公然化 ノンフィクション作家 保阪正康

今回の参議院選挙の結果を見て、意外な事実気がついた人はどれだけいるであろうか。

結果を受けて、政局を分析する報道はいつも通りである。

具体的には、石破茂首相はいつまで続投するのかという論じ方である。

1955年の結党以来、自民党が衆参両院で少数与党となるのは初めてのことから、政局に焦点が絞られるのはおかしくはない。

しかし私が「意外な事実」というのは、今回の選挙が二つの特徴を有していることを指している。

第一に、これほど現代日本の国民意識が鮮明になった選挙はないという点。

もう一点は選挙が欲求不満のはけ口になっているということだ。

今年は「昭和100年」とか「戦後80年」とか言われる節目の年でもある。

この事実動かされての選挙結果ではないか、とも思う。



人々に節目に合わせて画期をなしたいという心理があるなら、それがこの選挙ではなかったか、とまで私には思える。

■国家との一体化

若干の説明を加えるなら、これまでの日本の国政選挙は構図がどこか曖昧でいかようにも解釈できた。結果について多様な仮説が成り立った。

しかし今回は「国家主義的政党」「国民政党右派」「国民政党左派」「リベラル派」という4極に分かれ、特に国家主義的政党の台頭が鮮明化した。かつての選挙では国家主義的政策が正面切って論じられることはなかった。戦後社会の約束のようなものであり、自民党には国家主義勢力を抱え込む懐の深さがあった。

以前、副総理を務めた自民党の故藤田正晴氏が

「そのような連中を抱え込みつつ、わが党の枠組みに組み込んでいたんだ」と述懐したことがあったが、それは当たっていると、私には思えた。

しかし安倍政権後、国家主義的思考のグループは政治資金問題、世界平和統一家庭連合(旧統一教会)への批判などで、党内での地歩を失った。参政党や日本保守党は、その受け皿になったということであろう。

こうした勢力に30代から40代の中核的な勤労世代が支持を与えたという指摘があるが、私には納得できる。この世代は高税率にいら立ち、税金が無駄に使われているとの主張や排外主義的な政策を声高に叫ぶ政党に共感したのだろう。

加えて今回の選挙には、新自由主義的な政策で雇用の不安定や低賃金に怒る層が、自らの存在を国家と一体化して安定を得たいとの心理も反映されていると見るべきだ。これが国家主義的政党が台頭した因でもあるのだろう。

これまでの選挙で、これほどあからさまに弱者保護への批判、排外主義的言説、そして復古的価値への回帰論が公然化したことはない。

民主的価値を前提とする「オモテの言論」に対して、これらは「ウラの言論」という暗黙の了解があった。この社会のルールが崩壊したと見ても良いのではないだろうか。

■自制心も見えた

この国家主義的な「ウラの言論」が実は戦前・戦中の社会では「オモテの言論」を成していた。

「オモテ」と「ウラ」が逆だったことを知っておくことは必要である。

もう少し分かりやすく言うならば、国家主義的政党の憲法論などは、戦前の「オモテの言論」をなぞっているだけだという見方をしてもおかしくはないであろう。

今回の選挙が日本社会の意識の構図を明確に示したと、私が断じるのはこのような意味があるのだ。

その点に、私は興味があるのである。

今年は前述のように「戦後80年」「昭和100年」の節目になるわけだが、今回の選挙はその突出した現象のようなものだという点も、補足して説明しておきたい。

確かに「オモテの言論」の主流をなす非戦や人権などのスローガンに、「ウラの言論」の鼓吹者が公然と異議を申し立てた。だが、私は国家主義的政党に票を投じた勤労世代が、内心では「こんなに力を持つべき政治勢力ではない」との自制心を持っていることも知っている。

実際に講演会で、その種の自省的発言を聞かされた。それも意外に多くである。

それゆえにというべきか、次の国政選挙ではこうした勢力の現状維持は難しいのではないかと思っている。

今回の驚きの選挙結果は、節目の年の「記念行事」に終わらせることに意味があると思うのである。

【ほさか・まさやす】1939年、札幌市生まれ。同志社大卒。「昭和史を語り継ぐ会」を主宰。

昭和史の実証的研究を独自の視点で続ける。2004年に菊池寛賞。

著書に「昭和陸軍の研究(上下)」「昭和天皇実録 その表と裏」「ナショナリズムの昭和」(和辻哲郎文化賞)など。

■<視 標> 戦後80年とガザ攻撃 武力に頼り洗脳、日本と同じ過ちイスラエル犯す
平和運動家 ダニー・ネフセタイ
2025/8/21 05:00

日本に滞在してほぼ45年、私は母国イスラエルと日本を見つめ、お互いから学べること、お互いの過ちについて深く考える日々を過ごしてきた。

2008年のイスラエルによるガザ攻撃以降、全国で「戦争と人権」をテーマに講演を続け、北は北海道・稚内から南は沖縄県・石垣島まで、計800回以上講演した。

イスラエルでは自国民について「選ばれた民族」「世界一頭のいい民族」などの発言がなされる。こんな雰囲気の中に育つと私たちは知らず知らずにそう思うようになる。

違うと思っても、いつの間にか自分も染まってしまう。こんな考えを持つと近隣諸国と仲良く暮らすのは難しい。

日本はどうだろうか。

20年6月、麻生太郎財務相(当時)は国会で日本の新型コロナウイルスの死者が欧米より少ないことについて「国民の民度のレベルが違う」と発言した。

日本国民は諸外国より優れた民族だと思い込んでいるのだろうか。
一般の市民からも「中国人は信用できない」「中国製品は壊れやすい」という声を耳にする。
こうした意識が排外的な「日本人ファースト」への支持につながるのではないか。

イスラエルはパレスチナへのユダヤ人国家建設運動シオニズムを続けてきた。

これは日本が旧満州(中国東北部)で行った「開拓」によく似ていると思う。

今、イスラエルは戦争中の日本と同じ過ちを犯している。当時の日本のように武力に頼り、外交を軽んじる政策に基づき教育と洗脳を行っている。私は18歳になり、徴兵制によって全く疑問なく入隊した。

「中東の現状は生きるか死ぬか」と言われ「近隣諸国は敵だ」と教わった。
国家を守るのは当然だと思い、3年間イスラエル空軍に所属し、訓練で戦闘機を操縦した。
入隊当時、軍隊の役割とは人を殺すためではなく国家を守るためだと思ったが、戦争が起きれば「敵」を殺害するのも仕方ないと考えていた。

来日後、日本は戦争を放棄した憲法9条を持ち、第2次大戦の後には一度も戦争をしていないと知った。
08年のガザ攻撃では多くの子どもたちが殺された。兵器は人を殺し、物を壊すこと以外に何もできないのだ。

洗脳から覚めた。

「近隣諸国は敵」と思わされると武力はやむを得ない、抑止力が必要とじわじわと思うようになる。

「抑止力」とは説得力のある言葉に聞こえるが、実際はどうだろうか。

武器を抑止力にするためには「敵」より強い武器を保有しなければならない。

「敵」も同じことを考えれば軍拡競争のいたちごっこが始まる。

終わりのない、意味もない競争となる。

どの国であれ軍事費より、国民生活のためにより多くの国家予算を使うべきだ。

近隣諸国について「敵ではなく同じ人間だ」と子どもたちに教えなければならない。

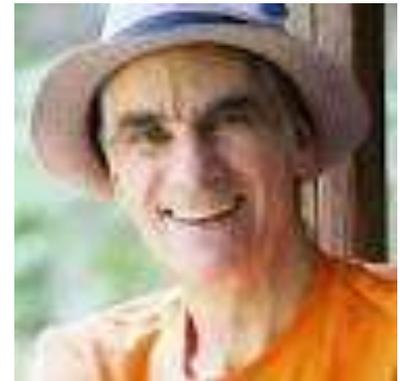
国家の責任とは軍事力に頼るのではなく、外交で平和を保ち、犠牲者を一人も出さないことだ。

戦後80年に考えるべき大切な課題だ。

【DANI NEHUSHTAI】1957年イスラエル生まれ。

埼玉県在住の木工職人。反戦平和を訴えて講演を続ける。

著書に「イスラエル軍元兵士が語る非戦論」。



理屈も 思想も 宗教も 何も知らんでいい ただ 戦争にNO! という・

正平調

建物の片隅に、そのブースはある。国内の遺跡や歴史的な建造物をプリントした紙が数枚。映像が流れているが、パンフレットの類いはない。そこは大阪・関西万博のパレスチナの展示室◆周囲で特産物やアクセサリーなどを売り買ひする声飛び交う中、パレスチナの一面は簡素で静かだ。それがもう何かを訴えることも、声を上げることもできない現状を伝えているかのよう◆中東の地でイスラエル軍によるガザ市への地上侵襲が始まった。北部から南部に向け避難を始めた人々を空から地上から、軍の執拗な攻撃がのみ込む。がれきに響く爆音、絶望の叫び◆停戦の動きがある一方で米国とイスラエルの怪しげな協議が報じられる。米大統領が「ハマスを掃で、ガザをリゾット地に」と言えば、イスラエル高官からは「ガザは不動産の宝庫」の発言が◆国連がガザ市で飢饉が起きていると発表したのは先月のこと。アフリカ以外では初めての認定で今週には、イスラエル首相の扇動によるシエノサイド(民族大虐殺)を結論づける報告も◆「理屈も 思想も 宗教も 何も知らんでいい ただ 戦争に NO! という」。

この夏、絵本作家の長谷川義史さんが子どもの本の専門店「クレヨンハウス」に寄せたメッセージを唱える。 2025.9.20

今回は 私の好きな絵本作家 長谷川義史さんが、取り上げられている。

絵本作家 長谷川義史さんの生の声

「理屈も 思想も 宗教も 何も知らんでいい ただ 戦争にNO! という」

TVも SNSもマスコミも本当に日本人は解説が好きだ。解説よりもストレートの意見が知りたい。

解説やったら、論旨のはっきりした書物がいい。スタートはそこやと私も思う

From Kobe Mutsu Nakanishi



トランプ大統領が力でねじ伏せたイスラエルとハマスの両方が合意して、停戦・人質解放へそしてガザへの救援が届くなら、まずはありがたい。

でも ほんまかいな.....と。何でもかんでも 自分じゃなかろうが.....とも。トランプさんはノーベル賞がほしいという。

関西人がよく使う"知らんけどけどな"とつくのですが.....

■ トランプ大統領の「強権と失望のはざままで揺れるアメリカ」

< <https://nml.mainichi.jp/c/aIaBb3qDfX6nsXbI> > 毎日新聞デジタル 経済プレミアム
[太田智之・みずほリサーチ&テクノロジーズ チーフエコノミスト](#) 2025年9月4日

トランプ大統領の強権的な振る舞いが、米国社会を大きく揺るがしている。

相次ぐ政府高官の解任、中央銀行へのあからさまな利下げ要求、高等教育機関の締め付け、メディアや民間企業への露骨な介入、そして大統領権限を巡る司法への挑戦と、まるで独裁者かと見まがうばかりの状況だ。

しかしトランプ氏の権限拡大の試みは世論の支持を必ずしも得られていない。

経済は堅調ながら生活実感は改善せず、国民の政治不信は募るばかり。

こうした政治と社会のねじれは、米国だけでなく日本を含む先進国全体が直面する共通課題を映し出している。

トランプ氏の暴走とまらず

トランプ氏による影響力行使の暴走が止まらない。前回の本稿で「Trump-dominated global economy(トランプが支配する世界経済)」との米ネットメディアの記事の見出しを紹介したが、その勢いはさらに加速しているように見える。

そうした中、米連邦控訴裁判所は8月29日にトランプ関税の法的根拠について、1審の米国際貿易裁判所の判断を支持し、大統領権限の逸脱と認定した。

しかし、トランプ氏は自身の交流サイト(SNS)で控訴審の判断を即座に批判。「党派的な裁判所が誤った判断を下した」と、むしろ問題は裁判所にあるとして、上訴する方針を明らかにした。

主張の正否は別として、共和党内はもとより、最高裁判事の3分の1を任命し、三権分立の柱である司法と立法を押しえた格好のトランプ大統領からすれば、下級審の判断は無意味とも言わんばかりの対応だ。

トランプ旋風一服も乏しい不満の受け皿

このようなトランプ政権に対し、英フィナンシャル・タイムズ(FT)コラムニストのジャン・ガネシュ氏は「強権的な指導者に対抗する唯一の手段は選挙で勝つことだ」と指摘している。

しかし、盤石な体制を築きつつある権力者に対抗するのはなかなか容易ではない。

アメリカの大統領選挙からまもなく……………

以下有料記事で 中身見えず。

有料記事の中身の続きは見えませんが、アメリカ本国で起こっていること

そして、今 日本でも こんな風潮を真似する空気も感じています。

これでよいのか日本 From Kobe Mutsu Nakanishi

トランプ政権のやり方に、アメリカ一般人はどう見ているのだろうか……………

トランプ政権の強権的な「アメリカ ファースト」

その強権ぶり 権力を振りかざしのしたい放題。

全く救いのない強権ぶりに、世界が混乱の渦の中。

実のところ アメリカの一般人はみんなどう見ているのだろうか… と

気になっているとき 毎日新聞で、こんな記事を見かけました。

有料記事で全体は見えませんが、今 アメリカで起こっていることの頭の整理の助けになれば

From Kobe Mutsu



トランプ米大統領の権限拡大の試みは必ずしも世論の支持を得ていない=AP